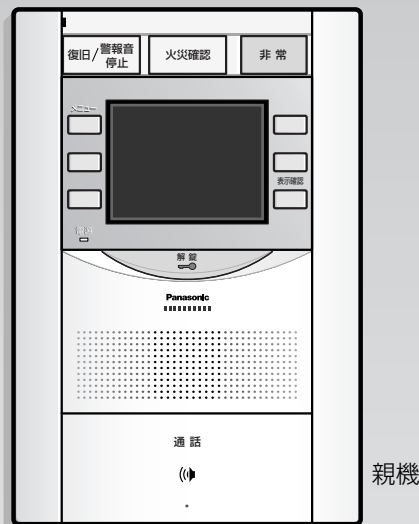
Panasonic®

施工説明書（住戸部）

マンションHAシステム Vシリーズ

MONION-R

カラーモニター付
セキュリティインターホン1M型

親機

●図はSHVT品番（埋込型）の場合を示します。

＜1M型親機＞

	埋込型	露出型
共同住宅用	品番 SHVT11431W 品番 SHVT18431W （3線仕様住戸カメラ対応）	品番 SHVT61431W 品番 SHVT68431W （3線仕様住戸カメラ対応）
住戸用	品番 SHVB11431W 品番 SHVB18431W （3線仕様住戸カメラ対応）	品番 SHVB61431W 品番 SHVB68431W （3線仕様住戸カメラ対応）

施工される前に

●正しい施工をしていただくため、必ずお読みください。
●施工するには、電気工事士・消防設備士（甲種第4類）の資格が必要です。
●施工後、必ず施主様に商品説明をしていただき、施工説明書などをお渡しください。
●保証書に必ず必要事項を記入してください。
●万一、施工説明書にしたがわず施工された場合の事故や故障などについては責任を負い兼ねることがあります。

もくじ

はじめに

取付方法

配線方法

機能設定

その他

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です。）

	してはいけない内容です。

	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

分解禁止

絶対に分解（指定以外の分解）、修理・改造しない。

感電の原因となります。

必ず守る

必ずマンションHAシステムに接続されているすべての機器の電源を切った状態で施工する。

活線工事は感電や故障の原因となります。

異常時「切」スイッチ（26ページ参照）は1次側の電源を切るスイッチです。（非常電源の電源は切れません。）

万一、異常が発生したら異常時「切」スイッチを切る。

切らないと、発熱・発火の原因となります。

AC100V用電源線は確実に差し込む。

差し込みが不十分な場合、発熱するおそれがあり、火災や焼損の原因となります。

禁止

水や雨のかかる場所（屋外など）および湿気の多い場所（浴室など）には設置しない。

感電の原因となります。

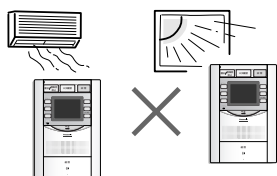
小勢力端子にAC100V用電源線を接続しない。

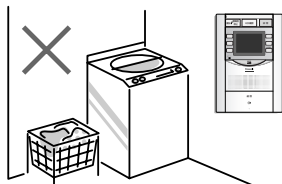
発火・発煙の原因となります。

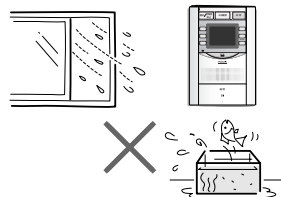
施工上のご注意

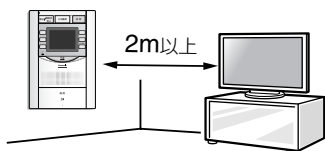
●この商品は屋内専用です。屋外には設置しないでください。
●AC100V配線と小勢力配線が接触しないように施工してください。
●SHVB品番の場合 住戸用自火報設備として、所轄消防署の指導により住棟受信機を接続する必要がある場合は、統合盤が使用できます。
●統合盤・警報監視盤と接続する場合、通話路数の設定（設定コード：C501）を必ず「1：1通話路」に設定してください。（詳細は、統合盤または警報監視盤に付属の設定マニュアルを参照してください。）
●SHVT品番の親機と接続する住棟受信機の回線は、住棟受信機の蓄積切替スイッチを「非蓄積」側に設定してください。「蓄積」側で使用すると火災が発生した場合、正常な火災警報動作をしません。
●住戸番号の重複設定はしないでください。各警報および統合盤または警報監視盤との通話ができなくなったり、統合盤、警報監視盤でトラブルが発報します。
●50Hz地区では、カメラ付ロビーインターホン、カラーカメラ付ドアホン子器の撮像範囲に直接蛍光灯の光が入ると、映像にチラツキが出ることがあります。蛍光灯の光を遮るか、インバータ蛍光灯を使用してください。
●近くに高出力の無線局や強い磁気を発生するものなどがあると、映像が乱れる場合がありますが、故障ではありません。
●訪問者がカラーカメラ付ドアホン子器正面中央部に立てるよう、カラーカメラ付ドアホン子器の設置位置を決めてください。
●液晶の破損や故障の原因となりますので、強い衝撃や振動を与えないでください。
●接続機器については、その商品に付属の説明書をよくお読みください。

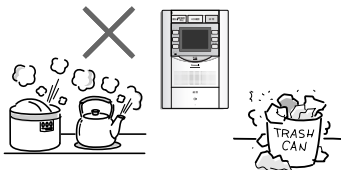
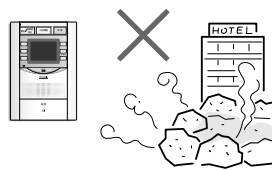
次のような場所には設置しないでください。

誤動作や故障の原因となります。

極端に寒い場所・暑い場所

〔冷・暖房の近くや、直射日光の当たる場所〕

密閉された狭い場所（脱衣所・トイレなど）

●音が反響して、ハウリング（ピー音がして通話ができなくなる）の原因となります。

水や雨がかかる場所（屋外など）

●感電の原因となります。

テレビ、ラジオ、ステレオなどの近く（2m以上離してください。）

●映像や音声が乱れる場合があります。

直接湯気のかかる場所
湿気の多い場所（浴室など）
ゴミやホコリの多い場所

硫化水素の発生する場所（温泉地など）

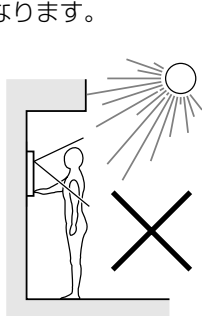
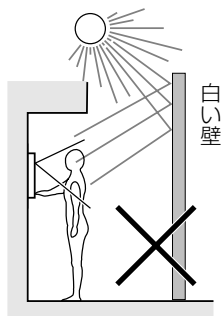
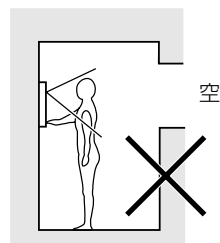
●寿命が短くなることがあります。

●図はSHVT品番（埋込型）の場合を示します。

施工上のご注意

カラーカメラ付ドアホン子器

●次のような場所にはなるべく設置しないでください。

逆光となり、画像が白くなったり、人物が暗くなり訪問者の顔が識別しにくくなります。また直射日光や強い照明の光などが入ると、縦に白い線が生じたり、太陽光による反射模様が発生して、映像が見えにくくなります。

人物の背景に太陽や強い照明がある場合

人物の背景に白い壁などがある場合

人物の背景に空がよく映るマンションなどの階上にある玄関など

付属品

付属品 ＼ 品番	埋込型 SHVT11431W SHVT18431W SHVB11431W SHVB18431W	露出型 SHVT61431W SHVT68431W SHVB61431W SHVB68431W
取付用なべ小ネジ（M4×25）	4本	4本
終端抵抗器（3kΩ 1W）	1本	1本
専用ブレーカー表示ラベル	1枚	1枚
コネクタ付リード線(8P)(汎用入力用)	1本	1本
コネクタ付リード線(2P)(増設スピーカー接続用)	1本	1本
取扱説明書	1冊	1冊
簡易取扱説明書（かんたんガイド）	1枚	1枚
保証書	1枚	1枚
パナソニック電工お客様ご相談窓口のご案内	－※1	1枚
施工説明書（本紙）	1冊	－

※1：埋込型の場合、パナソニック電工お客様ご相談窓口のご案内は同梱されていません。
パナソニック電工お客様ご相談窓口のご案内の内容は取扱説明書に記載しています。

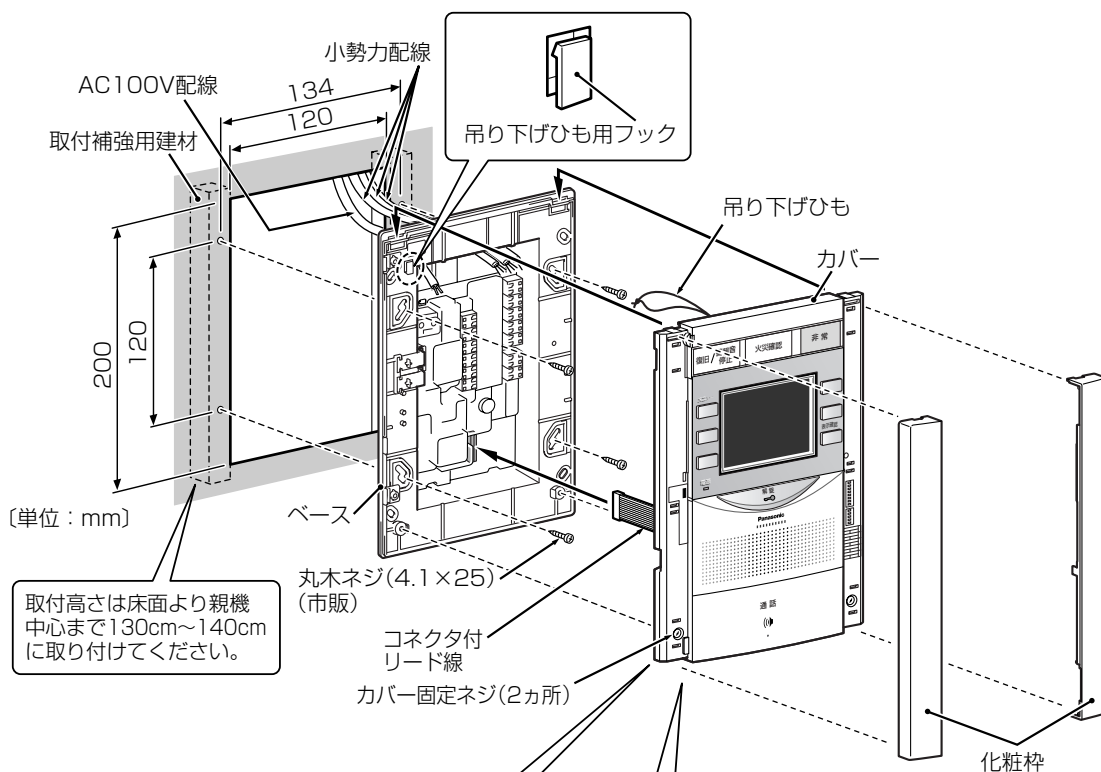
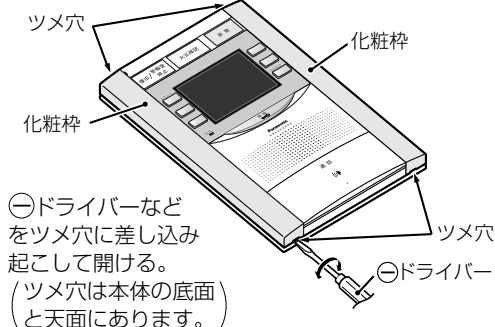
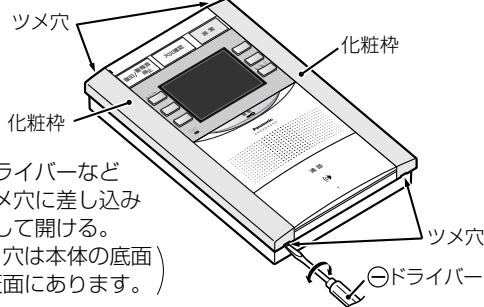
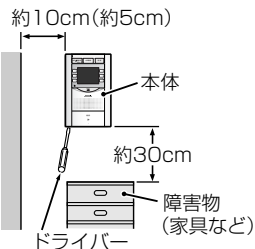
取付方法（埋込型の場合）

ボックスなし取付の場合

❶壁面に下記寸法の穴をあけ、取付補強用建材を取り付ける。
❷化粧枠をはずし、カバー固定ネジをゆるめ、カバーを開ける。
❸コネクタ付リード線をはずし、カバーとベースを分離する。
❹ベースに電線を入線後、市販の丸木ネジ(4.1×25)4本で壁面に固定する。
❺配線工事をする。(配線方法➡11〜23ページ)
❻カバーのコネクタ付リード線を、ベースのコネクタ受けに差し込む。
❼吊り下げひもをベースの吊り下げひも用フックに引っ掛ける。
❽カバー上部のフックをベースに引っ掛け、カバーをカバー固定ネジで固定する。
❾化粧枠を取り付ける。

●図はSHVT18431Wの場合を示します。

■化粧枠のはずし方

⊖ドライバーなどをツメ穴に差し込み起こして開ける。
（ツメ穴は本体の底面と天面にあります。）

●化粧枠を取りはずすため本体の下または上から30cm以内には障害物がないところに取り付けてください。

●ハンドセットを増設する場合がありますので、本体の左側5cm以内には障害物がないところに取り付けてください。
左側に障害物がある場合は、操作性を考慮し10cm以上離して取り付けることをおすすめします。

取付方法（埋込型の場合）

ボックス取付の場合

●AC100V配線と小勢力配線が接触しないように施工してください。
●ベースを付属の取付用なべ小ネジ(M4×25)4本でボックスに固定してください。
そのほかはボックスなし取付と同じです。

注 **取付用なべ小ネジは、ベースが変形しないように締め付けてください。**
（適正締め付けトルク：0.6N・m（6.1kgf・cm）以下）

取付方法（露出型の場合）

ボックス取付の場合

❶化粧枠をはずし、カバー固定ネジをゆるめ、カバーを開ける。
❷コネクタ付リード線をはずし、カバーとベースを分離する。
❸ベースに電線を入線後、付属の取付用なべ小ネジ(M4×25)4本でボックスに固定する。

注 取付用なべ小ネジは、ベースが変形しないように締め付けてください。（適正締め付けトルク：0.6N・m(6.1kgf・cm)以下）

❹配線工事をする。(配線方法 ➡11～23ページ)
❺カバーのコネクタ付リード線を、ベースのコネクタ受けに差し込む。
❻吊り下げひもをベースの吊り下げひも用フックに引っ掛ける。
❼カバー上部のフックをベースに引っ掛け、カバーをカバー固定ネジで固定する。
❽化粧枠を取り付ける。

●図はSHVT68431Wの場合を示します。

取付方法

取付方法（露出型の場合）

ボックスなし取付の場合

●AC100V配線と小勢力配線が接触しないように施工してください。
●壁面に左記寸法の穴をあけて、市販の丸木ネジ（4.1×25）4本で取り付けてください。
ほかの取付方法はボックス取付と同じです

注 石こうボードへの取り付けは脱落を防止するため、横木などで補強して取り付けてください。

配線方法

AC100V配線（速結端子）

❶ 電線の被ふくをむく。	VVFφ1.6またはφ2.0 12mm
❷ 1本ずつ奥までしっかり差し込む。	電線 埋込型 / 電線 露出型
電線のはずし方 ⊖ドライバーで電線はずし穴を押さえながら、電線を引き抜く。	電線はずし穴 ② ⊖ドライバー ① 埋込型 ① / ① ② 露出型

AC100V用電源線は確実に差し込む。
差し込みが不十分な場合、発熱するおそれがあり、火災や焼損の原因となります。

より線は使用しない。
ハンダ仕上げして使用すると発熱の原因となります。

小勢力配線（速結端子）

❶ 電線の被ふくをむく。	9mm
❷ 1本ずつ奥までしっかり差し込む。	電線 埋込型 / 電線 露出型
電線のはずし方 ⊖ドライバーではずしボタンを押しながら、電線を引き抜く。	はずしボタン 電線 埋込型 ⊖ドライバー / はずしボタン 電線 露出型 ⊖ドライバー

警告

小勢力端子にAC100V用電源線を接続しない。
発火・発煙の原因となります。

ハンダ付け工法・圧着スリーブ工法

- **コネクタ付リード線の長さが短い場合は、中間接続にてリード線を延長してください。**
- **コネクタには極性がありますので正しく接続してください。極性を間違えると動作しません。**
- **電線を接続する場合はハンダ付け工法か圧着スリーブ工法で処理を行い、その後テーピングで絶縁してください。**
- **耐熱の配線部分に関しては耐熱処理をしてください。**

ハンダ付け工法

❶ 3回以上巻き付ける。

❷ 先端を曲げた後、ひげのでないようにハンダ付けする。

ハンダ付け

❸ 半幅以上かさねて2回以上巻き付ける。

圧着スリーブ工法

❶ 電線を並べる。

❷ 完全な圧着をする。

圧着端子

❸ 半幅以上かさねて2回以上巻き付ける。

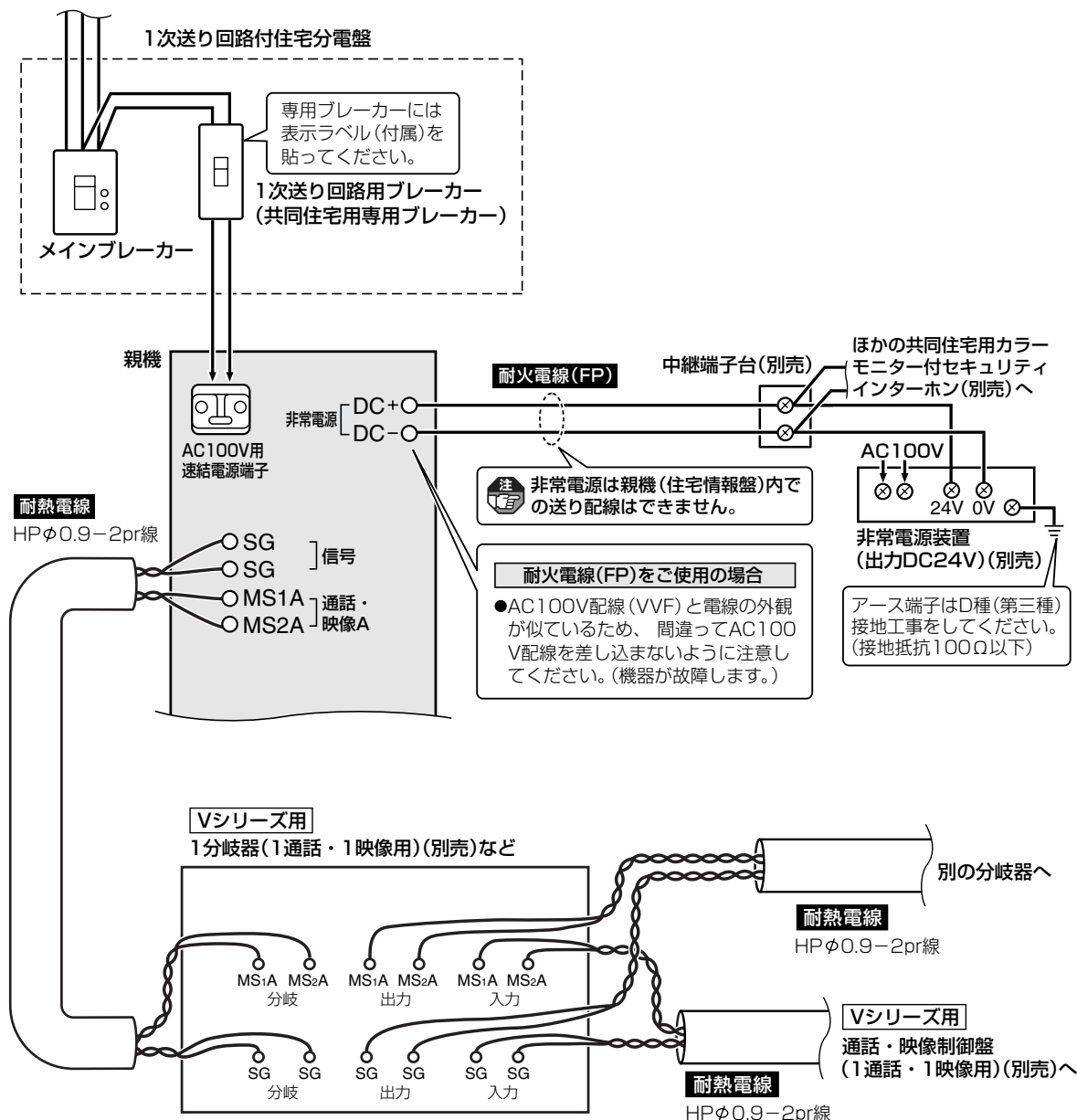
テーピング

配線方法 マンションHA統合盤と接続して使用する場合

統合盤と接続する場合、通話路数の設定（設定コード：C501）を必ず「1：1通話路」に設定してください。
（詳細は、統合盤に付属の設定マニュアルを参照してください。）

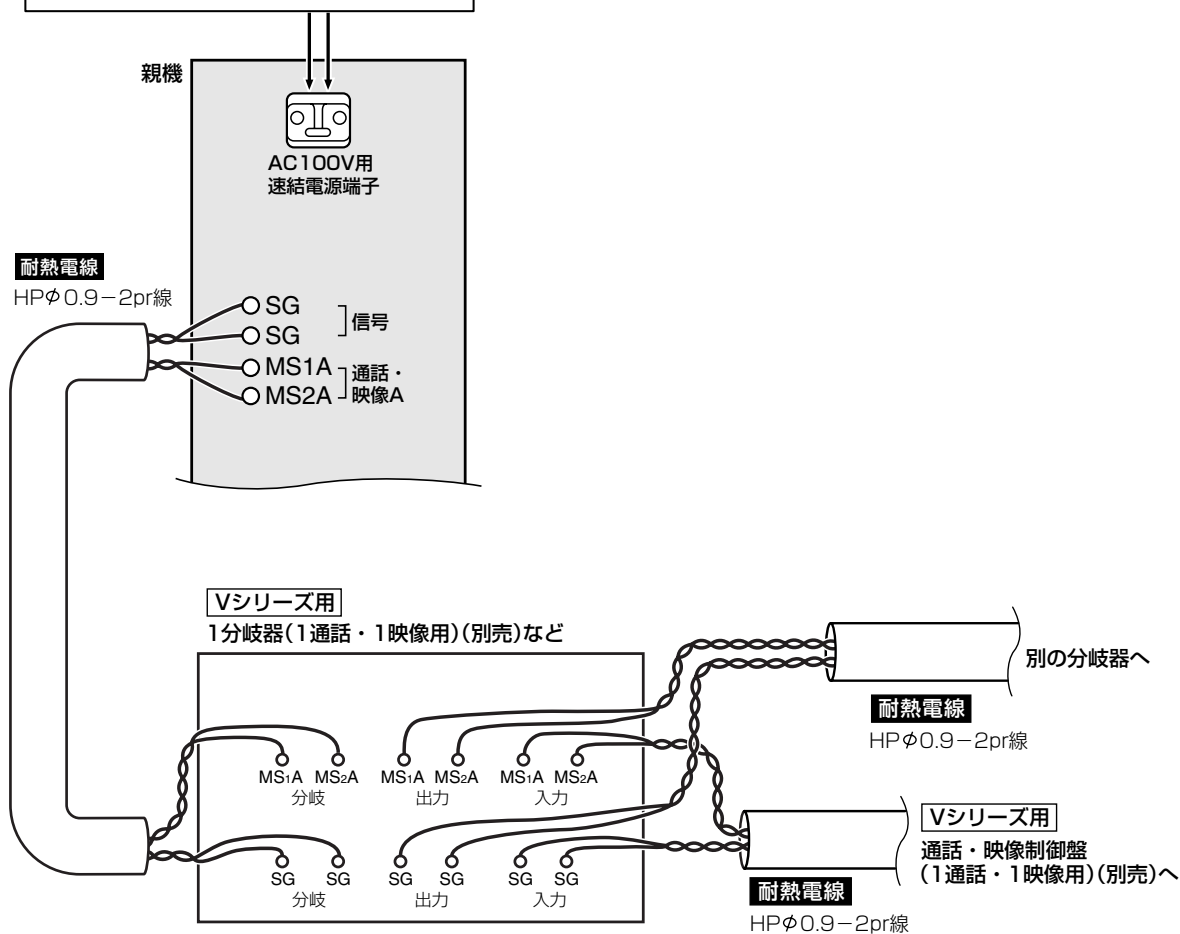
SHVT品番の場合

HP線にカッド線は使用できません。

●警報監視盤・システム制御装置と接続して使用する場合 ➡14ページ
●住戸内の接続方法 ➡16〜23ページ

●接続する商品は別途お買い求めください。
●接続機器については、その商品に付属の説明書をよくお読みください。
●〇端子は速結端子、⊗端子はネジ端子を示します。

SHVB品番の場合

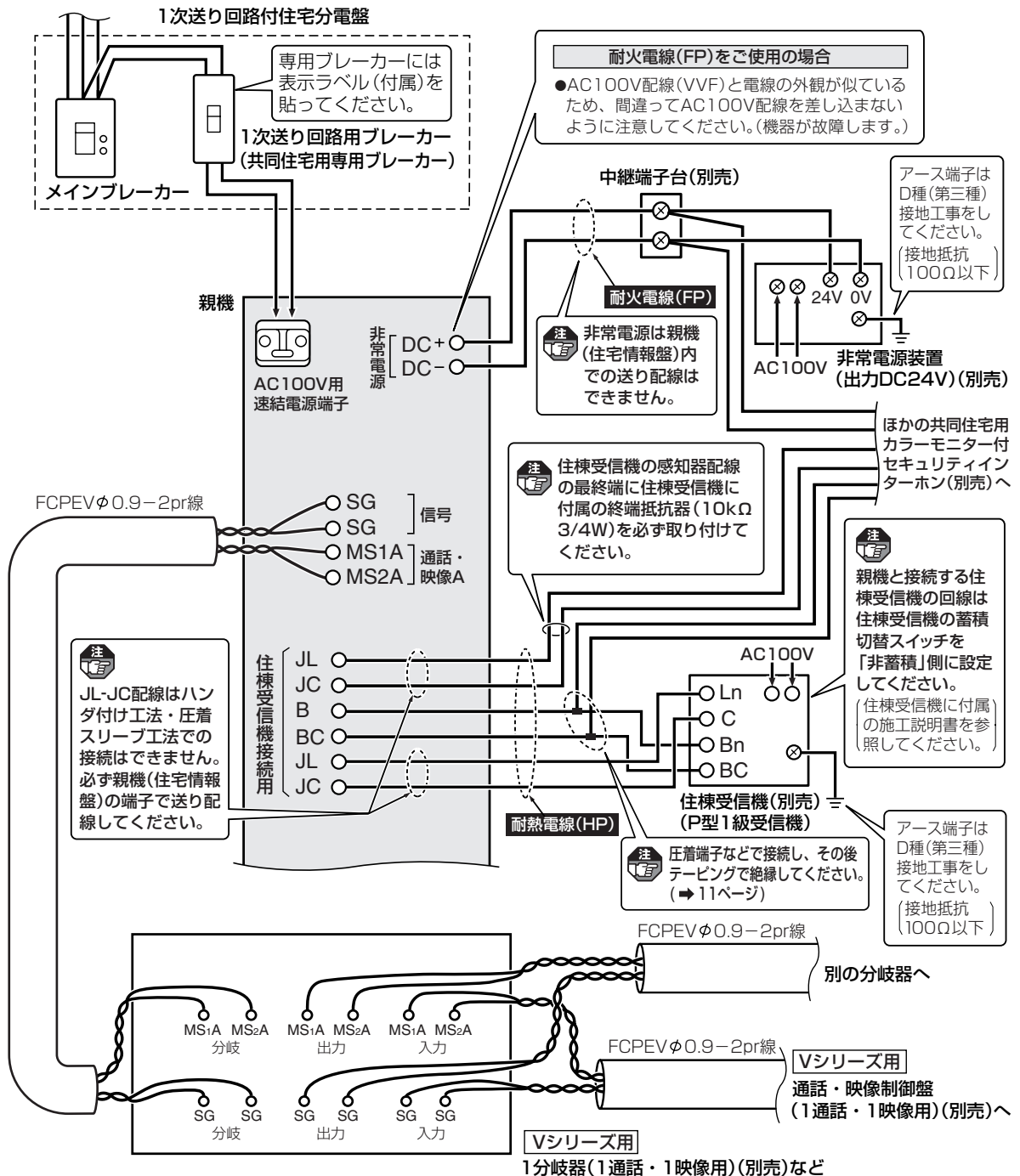
 HP線にカッド線は使用できません。

●警報監視盤・システム制御装置と接続して使用する場合 ➡15ページ
●住戸内の接続方法 ➡16～19ページ

配線方法

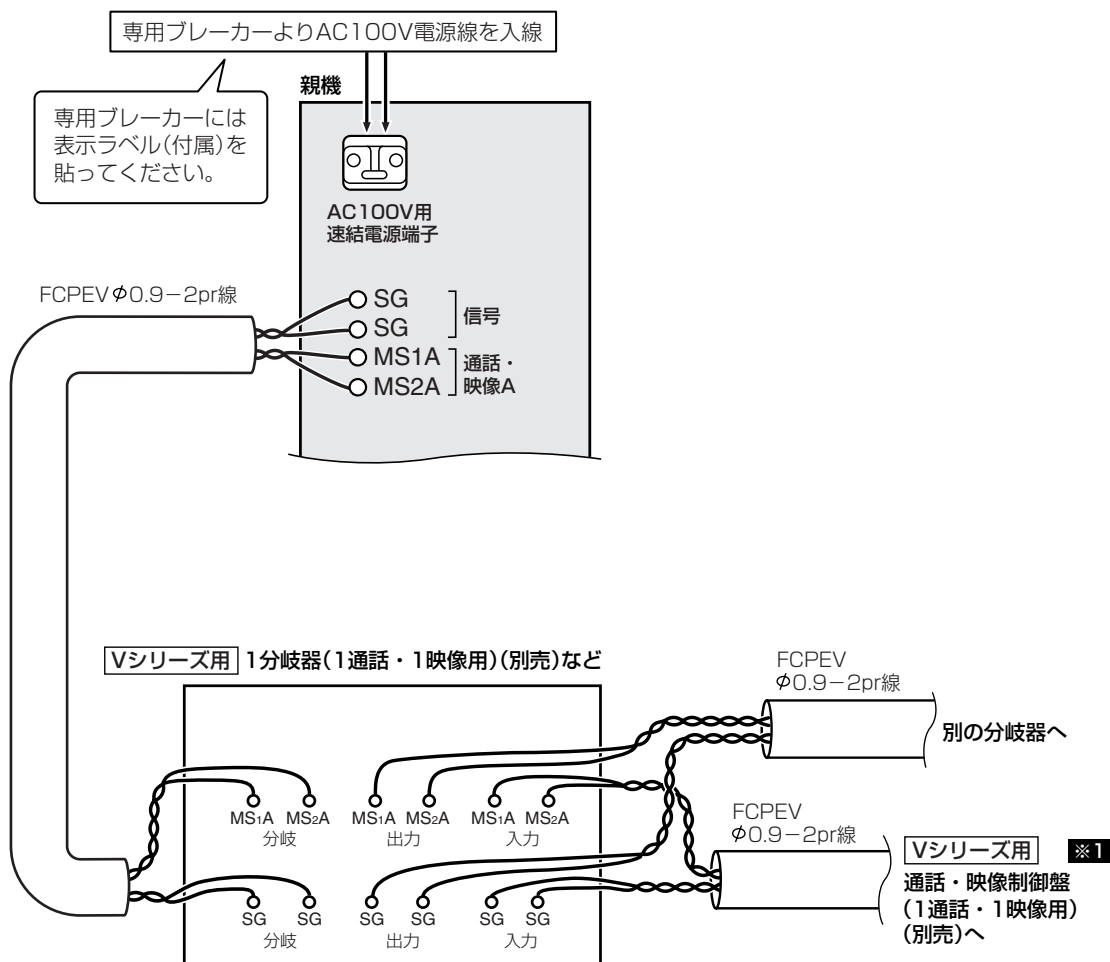
配線方法　警報監視盤・システム制御装置と接続して使用する場合

●住棟受信機は当社商品をご使用ください。
●警報監視盤と接続する場合、通話路数の設定（設定コード：C501）を必ず「1：1通話路」に設定してください。
（詳細は、警報監視盤に付属の設定マニュアルを参照してください。）

SHVT品番の場合

●住戸内の接続方法 ➡16〜23ページ

●接続する商品は別途お買い求めください。
●接続機器については、その商品に付属の説明書をよくお読みください。
●◯端子は速結端子、⊗端子はネジ端子を示します。

SHVB品番の場合

●住戸内の接続方法 ➡ 16〜19ページ

※1 ●システム制御装置と接続して使用する場合は、システム制御装置と直接、接続してください。
●システム制御装置は、1通話・1映像システムのみ対応できます。

配線方法

配線方法 住戸内の接続方法

●接続する商品は別途お買い求めください。
●接続機器については、その商品に付属の説明書をよくお読みください。
●○端子は速結端子、⊗端子はネジ端子を示します。

警報表示付ドアホン子器・カラーカメラ付ドアホン子器・感知器などとの接続

SHVT11431W・SHVT61431W・SHVB11431W・SHVB61431Wの場合（カメラなしドアホン子器との接続）

SHVT18431W・SHVT68431W・SHVB18431W・SHVB68431Wの場合（カメラ付ドアホン子器との接続）

配線方法

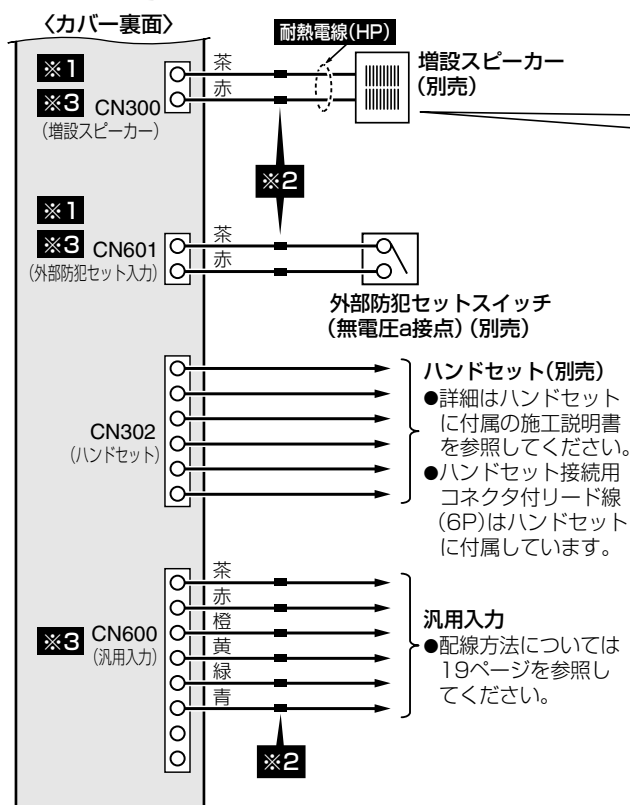
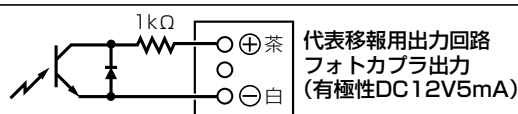
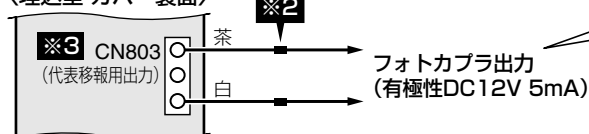
配線方法 住戸内の接続方法

●接続する商品は別途お買い求めください。
●接続機器については、その商品に付属の説明書をよくお読みください。
●◯端子は速結端子、⊗端子はネジ端子を示します。

その他の機器との接続

各コネクタの位置

●代表移報接続用コネクタ(CN803)を接続するときは、必ず取付方法(➡9ページ)の 図1 を参照してください。(露出型のみ)

●コネクタは斜め方向から抜き差ししないでください。斜め方向から抜き差しすると、故障の原因となります。
●代表移報接続用コネクタ(CN803)、ハンドセット接続用コネクタ(CN302)のコネクタ付リード線は付属していません。

●光る増設スピーカー2台と増設スピーカー1台も接続できます。(光る増設スピーカーは、別途AC100V電源が必要です。)
●補助音響装置として増設スピーカーが不要の場合は、光る増設スピーカーを3台まで接続できます。(光る増設スピーカーは消防法令上の補助音響装置として使用できません。)

■接続台数について

	接続台数	
増設スピーカー	1	0
光る増設スピーカー	2	3

※1 ●増設スピーカー用・外部防犯セットスイッチ入力用としてコネクタ付リード線(2P)を1本付属しています。
●2本以上必要な場合は、別途お買い求めください。

※2 ●圧着端子などで接続し、その後テーピングで絶縁してください。(➡11ページ)

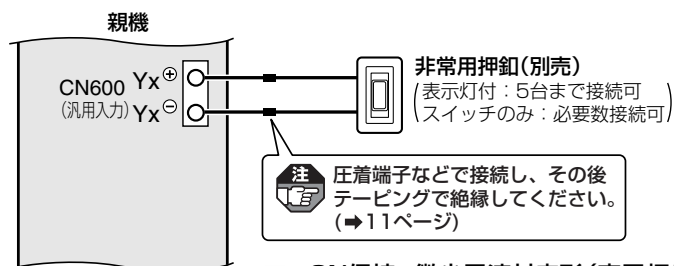
※3

コネクタ番号	使用するコネクタ付リード線の補修品番
CN300 CN601	SHVT175125460
CN600	SHVB684315450
CN803	SHWT234415440(10本入)、 SHWT234415441(1本入)

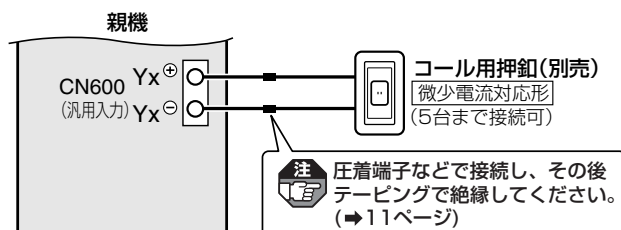
■汎用入力(CN600)を使用する場合の配線方法

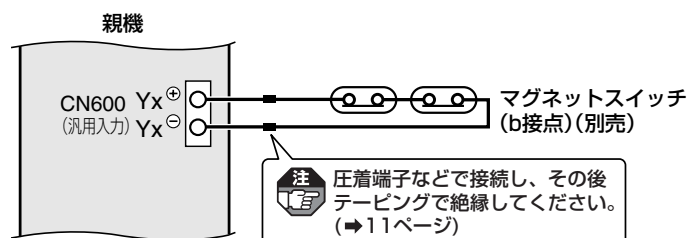
●汎用入力は、非常・コール・スプリンクラー・防犯の設定ができます。
詳しくは32ページを参照してください。

●「回路機能設定 回路1 回路2 回路3 」(➡ 32ページ)で設定した 回路1 と$Y1^{\oplus}$(茶色リード線)・$Y1^{\ominus}$(赤色リード線)、回路2 と$Y2^{\oplus}$(橙色リード線)・$Y2^{\ominus}$(黄色リード線)、回路3 と$Y3^{\oplus}$(緑色リード線)・$Y3^{\ominus}$(青色リード線)が対応しています。

●19～21ページの配線図中の$Yx^{\oplus}$、$Yx^{\ominus}$のxには1～3がはいります。

非常に設定した場合

注 ON保持・微少電流対応形(表示灯付)の押釦を使用する場合
●配線は有極性になります。
(リード線付押釦の場合は、$Yx^{\oplus}$に押釦のリード線アカ色、$Yx^{\ominus}$に押釦のリード線シロ色)
●1回路の中で2コ以上の押釦を同時に押すと、押釦の表示灯が暗くなります。

コールに設定した場合

注 ON保持形(表示灯付)の押釦を使用する場合
●配線は有極性になります。
($Yx^{\oplus}$ に押釦のリード線アカ色
$Yx^{\ominus}$ に押釦のリード線シロ色)
●1回路の中で2コ以上の押釦を同時に押すと、押釦の表示灯が暗くなります。

防犯に設定した場合

配線方法 住戸内の接続方法

- 20～21ページの配線図中のYx⊕、Yx⊖のxには1～3がはいります。
- Yx⊖、Yx⊕ は汎用入力です。汎用入力は設定が必要です。(➡19ページ)

スプリンクラーと統合盤システムを接続する場合(SHVT品番の場合のみ)

汎用入力回路をスプリンクラーに設定した場合

SHVT品番のみ接続可能です。

SHVT11431W・SHVT61431Wの場合(カメラなしドアホン子器との接続)

遠隔試験中継器を使用する場合の配線方法

注 遠隔試験中継器を使用して結線することもできます。その場合必ず親機～警報表示付ドアホン子器間は 耐熱電線(HP) を使用してください。

注 3線仕様の警報表示付ドアホン子器を接続する場合は、ME1端子、ME2端子、Ⓘ端子へ接続してください。

遠隔試験中継器(別売)(1台のみ接続可)

AC100V

親機

SL SC ST STC ME1 ME2 Ⓕ Ⓛ Ⓘ ⊖

CN600 Yx⊕ Yx⊖

L C SL SC ST STC

コネクタ

外部試験器(別売)

耐熱電線(HP)

感知器(遠隔試験対応品)(別売)

感知器は10台まで接続できます。ただし、アドレスが重複しないように設定してください。

警報表示付ドアホン子器(別売)(1台のみ接続可)

スプリンクラー ※1 (自動警報装置)(他社製)

アラーム弁(a接点)

アラーム弁(a接点)

閉止弁(b接点)

配線の終端のスプリンクラー(自動警報装置)には付属の終端抵抗器(3kΩ 1W)を必ず取り付けてください。

終端抵抗器 (3kΩ 1W) (付属)

注 圧着端子などで接続し、その後テーピングで絶縁してください。(➡11ページ)

親機

SL SC ST STC ME1 ME2 Ⓕ Ⓛ Ⓘ ⊖

CN600 Yx⊕ Yx⊖

耐熱電線(HP)

耐熱電線(HP)

L C SL SC ST STC Ⓕ Ⓛ Ⓘ ⊖

コネクタ

感知器(遠隔試験対応品)(別売)

感知器は10台まで接続できます。ただし、アドレスが重複しないように設定してください。

外部試験器 (別売)

警報表示付ドアホン子器 (遠隔試験端子付)(別売)(1台のみ接続可)

終端抵抗器 (3kΩ 1W) (付属)

配線の終端のスプリンクラー(自動警報装置)には付属の終端抵抗器(3kΩ 1W)を必ず取り付けてください。

アラーム弁 (a接点)

アラーム弁 (a接点)

閉止弁 (b接点)

スプリンクラー ※1 (自動警報装置)(他社製)

注 圧着端子などで接続し、その後テーピングで絶縁してください。(➡11ページ)

※1
- スプリンクラー(自動警報装置)のアラーム弁(a接点)出力が1回路のものは使用できません。
- アラーム弁が2a接点出力、閉止弁がb接点出力のものを使用してください。

●接続する商品は別途お買い求めください。
●接続機器については、その商品に付属の説明書をよくお読みください。
●◯端子は速結端子、⊗端子はネジ端子を示します。

SHVT18431W・SHVT68431Wの場合（カメラ付ドアホン子器との接続）

※1 ●スプリンクラー（自動警報装置）のアラーム弁（a接点）出力が1回路のものは使用できません。
●アラーム弁が2a接点出力、閉止弁がb接点出力のものを使用してください。

配線方法 住戸内の接続方法

●接続する商品は別途お買い求めください。
●接続機器については、その商品に付属の説明書をよくお読みください。
●〇端子は速結端子、⊗端子はネジ端子を示します。

スプリンクラーと住棟受信機（P型1級受信機）を接続する場合（SHVT品番の場合のみ）

SHVT11431W・SHVT61431Wの場合（カメラなしドアホン子器との接続）

親機

SL
SC
ST
STC
ME1
ME2
Ⓕ
Ⓛ
Ⓘ
㊀

耐熱電線（HP）

L
C
SL
SC
ST
STC
ME1
ME2
Ⓕ
Ⓛ
Ⓘ
㊀

コネクタ

感知器（遠隔試験対応品）（別売）
（感知器は10台まで接続できます。ただし、アドレスが重複しないように設定してください。）

外部試験器（別売）

警報表示付ドアホン子器（遠隔試験端子付）（別売）（1台のみ接続可）

ほかの共同住宅用カラーモニター付セキュリティインターホン（別売）へ

住棟受信機接続用

JL
JC
B
BC
JL
JC

耐熱電線（HP）

AC100V

Ln
C
Bn
BC
Lm
C

注 親機と接続する住棟受信機の回線は住棟受信機の蓄積切替スイッチを「非蓄積」側に設定してください。
（住棟受信機に付属の施工説明書を参照してください。）

アース端子はD種（第三種）接地工事をしてください。（接地抵抗100Ω以下）

注 受信機側でスプリンクラー設定をしてください。

注 JL-JC配線はハンダ付け工法・圧着スリーブ工法での接続はできません。必ず親機（住宅情報盤）の端子で送り配線してください。

注 圧着端子などで接続し、その後テーピングで絶縁してください。（➡11ページ）

住棟受信機（別売）（P型1級受信機）

アラーム弁（a接点）

終端抵抗器（3kΩ 1W）（付属）

配線の終端のスプリンクラー（自動警報装置）には付属の終端抵抗器（3kΩ 1W）を必ず取り付けてください。

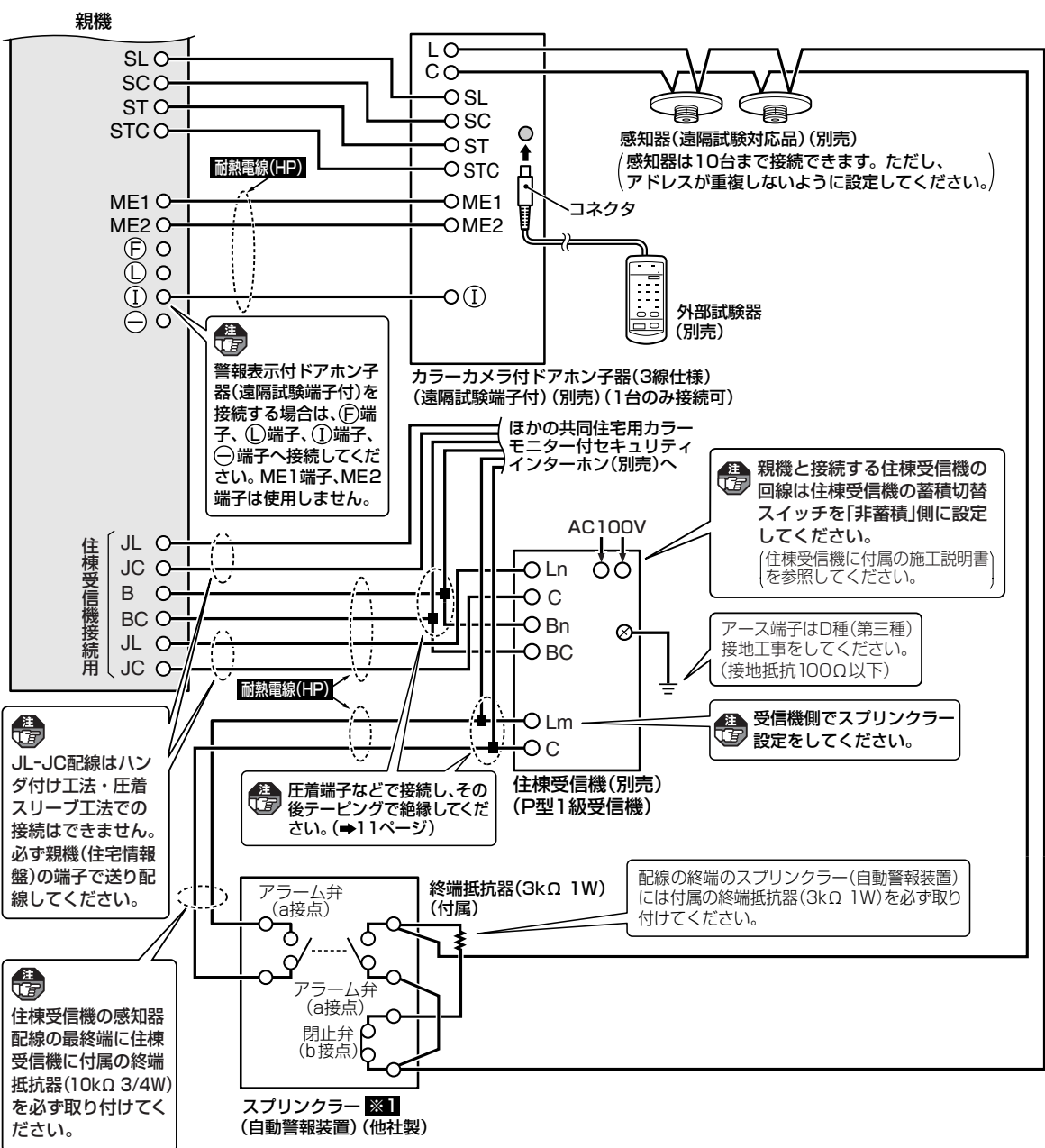
アラーム弁（a接点）

閉止弁（b接点）

注 住棟受信機の感知器配線の最終端に住棟受信機に付属の終端抵抗器（10kΩ 3/4W）を必ず取り付けてください。

スプリンクラー ※1（自動警報装置）（他社製）

※1 ●スプリンクラー（自動警報装置）のアラーム弁（a接点）出力が1回路のものは使用できません。
●アラーム弁が2a接点出力、閉止弁がb接点出力のものを使用してください。

SHVT18431W・SHVT68431Wの場合（カメラ付ドアホン子器との接続）

※1 ●スプリンクラー（自動警報装置）のアラーム弁（a接点）出力が1回路のものは使用できません。
●アラーム弁が2a接点出力、閉止弁がb接点出力のものを使用してください。

配線方法

配線可能距離

●親機～統合盤または警報監視盤、システム制御装置、分岐器～通話・映像制御盤、通話・映像制御盤～統合盤または警報監視盤、システム制御装置の配線可能距離については、統合盤または警報監視盤、システム制御装置に付属の説明書（共用部）を参照してください。
●親機～非常電源装置間の配線については25ページの「非常電源 配線系統図」を参照してください。（SHVT品番の場合のみ）

配線区間 ＼ 使用電線	AEφ0.9線	HPφ0.9線	FCPEV φ0.9－3pr線	HP φ0.9－3pr線
親機～増設スピーカー	―	50m	―	―
親機～カラーカメラ付ドアホン子器（ME1、ME2、Ⓘ端子）または警報表示付ドアホン子器（Ⓕ、Ⓛ、Ⓘ、㊀端子）（3線仕様の場合：ME1、ME2、Ⓘ端子）	―	100m	―	―
親機～分岐器 統合盤と接続した場合	―	―	―	50m
親機～分岐器 警報監視盤・システム制御装置と接続した場合	―	―	50m	―
親機～住棟受信機	―	300m	―	―
親機～カラーカメラ付ドアホン子器または警報表示付ドアホン子器（Ⓛ、Ⓒ、SL、SC、ST、STC端子）～感知器	100m	―	―	―
親機～遠隔試験中継器（Ⓛ、Ⓒ、SL、SC、ST、STC端子）～感知器	100m	―	―	―
親機～スプリンクラー	―	100m	―	―
親機～ガス警報器、各押釦、外部防犯セットスイッチ、スイッチストライク	100m	―	―	―
親機～マグネットスイッチ（全長）	100m	―	―	―

非常電源　配線系統図（SHVT品番の場合のみ）

●非常電源線は電圧降下があるため、下記のように施工してください。
●非常電源装置は、蓄電池の容量により、警戒・警報できる容量を下記のとおり保持しています。

非常電源装置の蓄電池容量	警戒・警報できる容量
6Ah	65住戸分(65住戸1時間警戒・5住戸10分警報)
8Ah	90住戸分(90住戸1時間警戒・5住戸10分警報)

ただし、MAX30住戸／1系統以内の配線としてください。

※共同住宅用スプリンクラー設備の音声警報装置(1時間警戒・5住戸10分警報・5住戸10分制御弁表示)として使用する場合は、6Ahタイプで64住戸分、8Ahタイプで90住戸分となります。

●非常電源装置の配線は 耐火電線(FP) を使用してください。火災の影響を受けない場所は 耐熱電線(HP) を使用することも可能です。

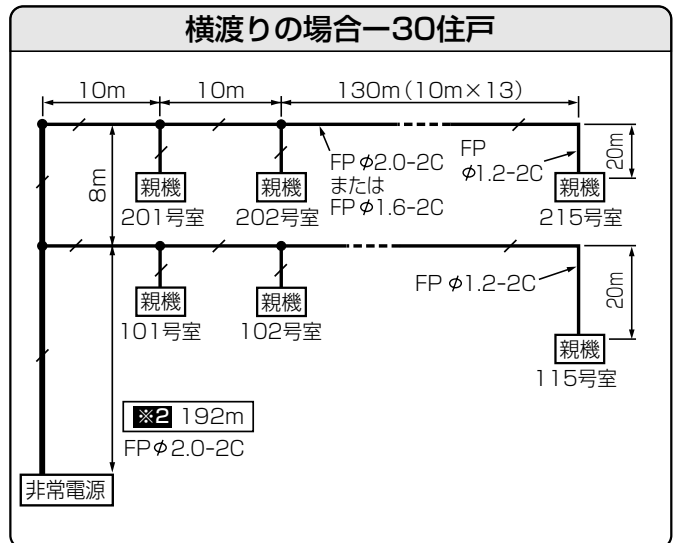
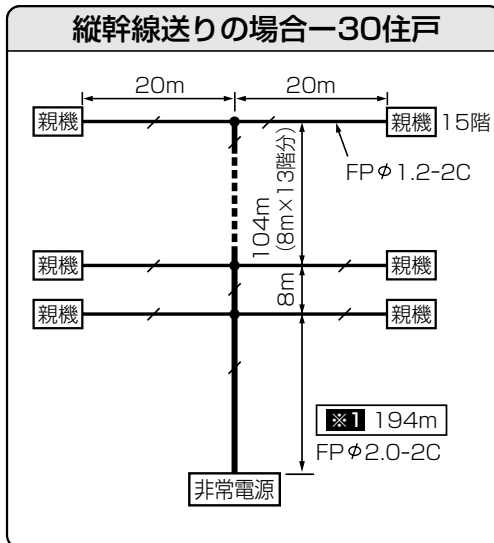
■配線長

幹線の配線長 ＼ 幹線の使用耐火電線		φ2.0	φ1.6	φ1.2
縦幹線送り	※1 30住戸/1系統	194m	89m	23m
横　渡　り	※2 30住戸/1系統	192m	87m	22m

■配線系統図例

住戸への引き込み線は親機内へ収納しやすくするためにφ1.2線を使用してください。

縦幹線送りの場合ー30住戸

横渡りの場合ー30住戸

※1：「配線長」を参照してください。

※2：「配線長」を参照してください。

機能設定

●機能設定は「設定スイッチによる設定」と「画面操作による設定」があります。

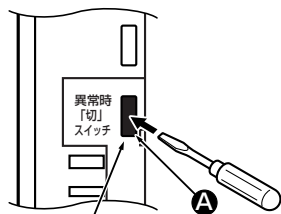
設定スイッチによる設定

下記のことを守ってください。
守らないと、正しくデータ登録ができないため、正常な動作をしません。

●設定スイッチによる機能設定時は必ずマンションHAシステムに接続されているすべての機器の電源を切った状態で行ってください。
●親機の住戸番号の設定を行ってください。
●親機の電源を入れてからマンションHAシステムに接続されている機器の電源を入れてください。
●住戸番号の設定などは統合盤または警報監視盤、システム制御装置側でも設定が必要な場合があります。統合盤または警報監視盤、システム制御装置側で設定を行ってください。
詳しくは統合盤または警報監視盤、システム制御装置に付属の設定マニュアルを参照してください。

異常時「切」スイッチ

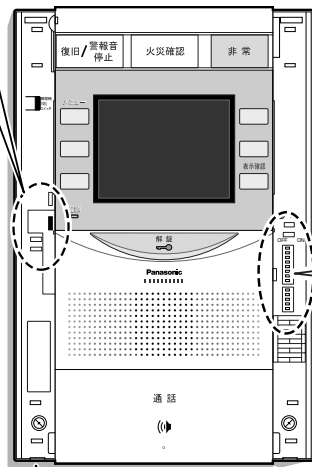
Ⓐ

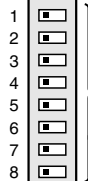
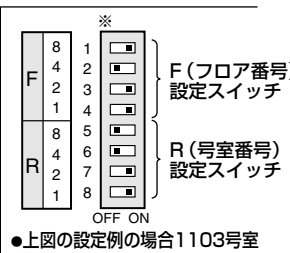
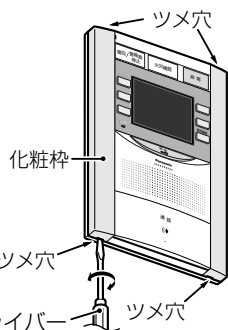
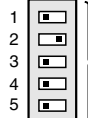
Ⓐ部(シール貼り部分)を⊖ドライバーなどで突き破って押してください。

異常時「切」スイッチ部

親機が異常な状態の一次処置として、使用してください。
すべての機能が停止します。
(異常時「切」スイッチは、化粧枠の下にあります。)

はずした化粧枠を取り付けないでください。
取り付けると自動的に電源が入ります。

●図はSHVT品番(埋込型)の場合を示します。

復旧/警報音停止　火災確認　非常
解錠
Panasonic
通話

出荷時設定

OFF ON
1
2
3
4
5
6
7
8

OFF ON
1
2
3
4
5

■化粧枠のはずし方

⊖ドライバーなどをツメ穴に差し込み起こして開ける。
(ツメ穴は本体の底面と天面にあります。)

■各スイッチの設定

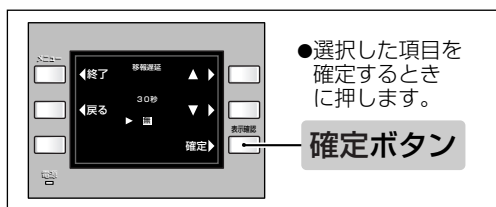
スイッチ	設　定	機 能 説 明
1〜8	住戸番号の設定方法	❶F（フロア番号）設定スイッチで1〜15階までの **フロア番号** を設定する。 ❷R（号室番号）設定スイッチで1〜15号室までの **号室番号** を設定する。 ❸全住戸の住戸番号の設定が完了したら、親機の電源を入れた後、統合盤または警報監視盤、システム制御装置側の電源を入れ、住戸登録をする。 ❹❶❷で設定されたインターホン（住戸）がロビーインターホンおよび統合盤または警報監視盤、システム制御装置で登録される。 ❺住戸番号の設定を確認する。 注 **住戸を呼び出したとき、ロビーインターホンおよび統合盤または警報監視盤の呼出住戸番号が消灯する場合は、再度設定し直すか、または配線を確認してください。** ※ F 8 4 2 1 ／ 1 2 3 4 F（フロア番号）設定スイッチ R 8 4 2 1 ／ 5 6 7 8 R（号室番号）設定スイッチ OFF ON ●上図の設定例の場合1103号室

■各スイッチの設定

スイッチ	設　定	機 能 説 明
1 （ページ設定スイッチ）	15階または1フロアが15号室を超えるときの設定方法	OFF ON 1 ●住戸番号を設定し、「ON」側にする。 注 **統合盤または警報監視盤、システム制御装置の設定が必要です。** ■統合盤または警報監視盤、システム制御装置側で **Aパターン** に設定されている場合 ●上図の※の住戸番号は…「1103号室」→「1118号室」（03+15） ■統合盤または警報監視盤、システム制御装置側で **Bパターン** に設定されている場合 ●上図の※の住戸番号は…「1103号室」→「2603号室」（11+15）
2	ガス機器異常警報機能の設定	OFF ON 2 ONのとき：ガス機器異常（断線およびガス警報器取りはずし）が発生しても、警報しません。 OFF ON 2 OFFのとき：ガス機器異常（断線およびガス警報器取りはずし）が発生したとき、警報します。
3	火災感知器配線断線警報機能の設定	OFF ON 3 ONのとき：火災感知器配線が断線しても、警報しません。 OFF ON 3 OFFのとき：火災感知器配線が断線したとき、警報します。
4	SHVT品番の場合 火災確認時間の設定	●火災確認警報に切り替わるまでの感知器作動警報の鳴動時間を設定します。 OFF ON 4 ONのとき：約5分設定 OFF ON 4 OFFのとき：約2分設定
	SHVB品番の場合	OFF ON 4 ●変更しないでください。必ず「OFF」側で使用してください。
5	システム接続住戸数拡張の設定	OFF ON 5 ●30階または1フロアが30号室を超える場合に「ON」側にする。このとき、スイッチ1（ページ設定スイッチ）は必ず「OFF」側にする。 注 **統合盤または警報監視盤、システム制御装置の設定が必要です。** ■統合盤または警報監視盤、システム制御装置側で **Aパターン** に設定されている場合 ●上図の※の住戸番号は…「1103号室」→「1133号室」（03+30） ■統合盤または警報監視盤、システム制御装置側で **Bパターン** に設定されている場合 ●上図の※の住戸番号は…「1103号室」→「4103号室」（11+30）

親機の画面操作による設定

●画面操作の設定には **施工設定** と **ユーザー設定** があります。**施工設定** は必ず施工店様で設定してください。

画面操作時の各ボタンのなまえとはたらき

注 30秒以上操作しない場合は待機状態に戻ります。

施工設定を開始／終了するには

注 30秒以上操作しない場合は待機状態に戻ります。

1 待機状態でメニューボタンを押す
(画面に何も表示されていない状態)

2 3秒以上、設定ボタンを押す

3 各項目の設定をする
➡32ページ～49ページ

4 終了ボタンを押す
●待機画面(画面に何も表示されていない状態)にする。

注 ●設定変更した場合は各画面から待機状態に戻る間に「設定変更中」の画面になります。
●必ず終了ボタンを押して待機状態に戻してください。30秒以上操作せずに待機状態になった場合は設定変更されません。最初から設定し直してください。

施工設定 施工設定一覧表

●コール(連絡)の機能の切り替えや防犯警報の移報遅延などが設定できます。

設定項目			設定内容	出荷時設定	ページ
回路機能設定	回路1		汎用入力1〜3の内容を設定します。	コール1	▶ 32
	回路2			コール2	
	※1 回路3			未使用	
非常設定	移報遅延		非常発生時に住戸玄関・管理室へ警報が移報されるまでの遅延時間を設定します。	無	▶ 33
	非常鳴動		非常発生時に警報音を鳴動させるかさせないかを設定します。	有	▶ 33
コール設定	コール1〜コール3個別設定	機能切替	コール1(コール2の場合はコール2・コール3の場合はコール3)からの呼び出しを「コール(連絡)」にするか、「緊急コール警報」にするかを設定します。	連絡	▶ 34
		移報遅延	**注 機能切替設定で「緊急」に設定されている場合のみ設定できます。「連絡」に設定している場合、「移報遅延」は使用できません。** 住戸玄関・管理室へ緊急コール警報が移報されるまでの遅延時間を設定します。	30秒	▶ 34
		ラッチ(自己保持機能)	コール用押釦が元に戻ったとき、警報を継続させるかさせないかを設定します。	無	▶ 35
		※1 表示(画面の表示)	コール1(コール2の場合はコール2・コール3の場合はコール3)からの呼び出し時、画面の表示を何にするかを設定します。	コール1 ●コール2の場合「コール1」表示は「コール2」表示になります。 ●コール3の場合「コール1」表示は「コール3」表示になります。	▶ 35
		音量(連絡コール)	**注 機能切替設定で「連絡」に設定されている場合のみ設定できます。「緊急」に設定している場合、「音量(連絡コール)」は使用できません。** コール1(コール2の場合はコール2・コール3の場合はコール3)から呼ばれたときに、親機から鳴る呼出音の音量を設定します。	連動	▶ 36
		ドアホン移報	**注 機能切替設定で「緊急」に設定されている場合のみ設定できます。「連絡」に設定している場合、ドアホンへの移報は行われません。** コール用押釦を押したとき、住戸玄関から警報音を鳴らすか鳴らさないかを設定します。	有	▶ 36
	注 コール2・コール3の設定内容はコール1と同じです。(出荷時設定も同じです。)				
	コール共通	音声メッセージ	**注 表示(画面の表示)設定で「トイレ」「フロ」「部屋」に設定されている場合のみ表示場所を音声で鳴動します。** コール用押釦を押したとき、親機・増設スピーカーから呼出元を鳴動させることができます。	有	▶ 37

※1:統合盤または警報監視盤、システム制御装置から全住戸一括遠隔設定が可能です。
ただし、回路機能設定は回路3を防犯として、使用するかしないかの設定のときのみとなります。

機能設定

施工設定 施工設定一覧表

●コール（連絡）の機能の切り替えや防犯警報の移報遅延などが設定できます。

設定項目			設定内容	出荷時設定	ページ
防犯設定	防犯1	警戒遅延	防犯セット操作後、防犯警戒状態になるまでの時間を設定します。	無	▶ 38
		予備警報	防犯警戒中に扉を開けた場合のマグネットスイッチが作動してから防犯警報するまでの時間を設定します。	無	▶ 39
		警戒確定音	防犯警戒状態に入るまでの時間に予告音・確定音を鳴らすか鳴らさないかを設定します。	無	▶ 39
		表示（画面の表示）	予備警報および防犯警報時、画面の表示を何にするかを設定します。	防犯1	▶ 40
	防犯2	警戒遅延	防犯セット操作後、防犯警戒状態になるまでの時間を設定します。	６０秒	▶ 38
		予備警報	防犯警戒中に扉を開けた場合のマグネットスイッチが作動してから防犯警報するまでの時間を設定します。	６０秒	▶ 39
		警戒確定音	防犯警戒状態に入るまでの時間に予告音・確定音を鳴らすか鳴らさないかを設定します。	無	▶ 39
		表示（画面の表示）	予備警報および防犯警報時、画面の表示を何にするかを設定します。	防犯2	▶ 40
	防犯共通	管理移報	管理室へ防犯警報を移報させるかさせないかを設定します。 注 **「無」に設定してもドアホンへの移報は行われます。**	有	▶ 41
		移報遅延	住戸玄関・管理室へ防犯警報が移報されるまでの遅延時間を設定します。	４０秒	▶ 41
		センサー情報	防犯警報時、扉の開閉状態の情報を管理室へ移報するときに設定します。	無	▶ 42
		外部解除	すべての防犯回路を同時に外部防犯セットスイッチから警戒解除を可能にする機能設定です。	不可	▶ 42
		警報中外部解除	注 **「可」に設定する場合、防犯共通設定の「外部解除」を「可」に設定してください。** 防犯警報中でも防犯予備警報中でもすべての防犯回路を同時に外部防犯セットスイッチから警報解除を可能にする機能設定です。	不可	▶ 43
		予備警報音	防犯予備警報の呼出メッセージの音声部分を鳴らすか鳴らさないかを設定します。	有	▶ 43
		警戒報知音	注 **「有」に設定し、防犯設定の「警戒確定音」を「有」に設定した場合、警戒セット状態になったときに警戒報知のメッセージが鳴動して、警戒確定音「ピー」は鳴動しません。** 防犯回路が警戒セット状態および解除状態になったときに親機からメッセージを鳴動させるかさせないかを設定します。	無	▶ 44

設定項目		設定内容	出荷時設定	ページ
接続機器設定	※1 玄関カメラ	カラーカメラ付ドアホン子器を接続するか接続しないかを設定します。	**SHVT18431W** **SHVB18431W** ：有 **SHVT68431W** **SHVB68431W** ：無	▶ 45
	代表移報	代表移報出力の内容を設定します。	警報代表	▶ 46
	※2 管理呼機能	住戸から管理室への呼び出しができるかできないかを設定します。	無	▶ 46
	地震	緊急地震速報インターフェース盤を接続するか接続しないかを設定します。 注 **緊急地震速報信号を受けると、自動的に「有」に設定変更されます。**	無	▶ 47
初期化	ユーザー設定初期化	すべてのユーザー設定データを消去し、出荷時状態に戻します。	ー	▶ 48
	施工設定初期化	すべての施工設定データを消去し、出荷時状態に戻します。	ー	▶ 49

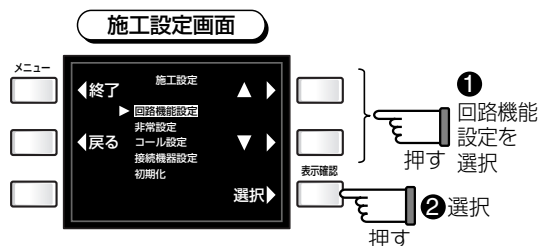
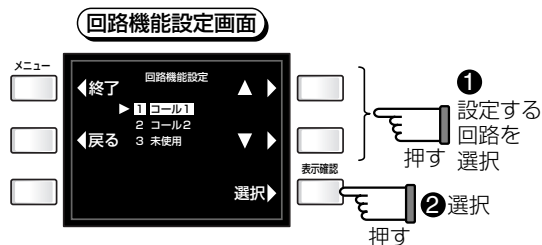
※1：SHVT18431W、SHVT68431W、SHVB18431W、SHVB68431Wの場合のみ設定できます。
※2：統合盤または警報監視盤、システム制御装置から全住戸一括遠隔設定が可能です。

施工設定

注 必ず施工店様で設定してください。

回路機能設定 回路1 回路2 回路3

●設定内容および操作方法は、回路1・回路2・回路3とも同じです。
●防犯は全住戸一括の設定の場合、統合盤または警報監視盤、システム制御装置からの遠隔設定が可能です。詳細は統合盤または警報監視盤、システム制御装置に付属の設定マニュアルを参照してください。
●回路3未使用の場合、統合盤または警報監視盤、システム制御装置から、回路3に対して防犯1回路の全住戸一括の遠隔設定が可能です。
●全住戸一括での設定をしない場合、および防犯2回路の設定が必要な場合は、住戸ごとに設定してください。

1 施工設定画面の 回路機能設定 を選択する

2 1 コール1 2 コール2 3 未使用 のいずれかを選択する

3 非常 コール スプリンクラー 防犯 未使用 のいずれかを選択する

回路3画面

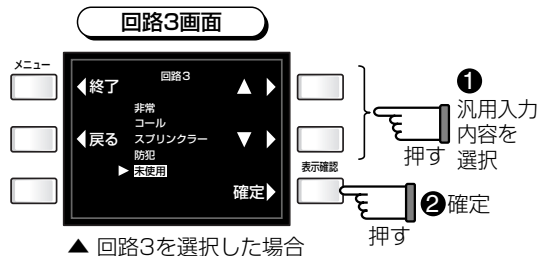
メニュー 回路3 終了 非常 コール 戻る スプリンクラー 防犯 ▶未使用 確定 表示確認

❶汎用入力内容を選択 押す

❷確定 押す

▲ 回路3を選択した場合

●汎用入力内容一覧表

非　常	増設の非常用押釦を押すことで非常通報します。
コール	コール用押釦を押すことでコール通報します。
スプリンクラー	スプリンクラーが動作したときに即時火災警報として発報します。 注 SHVT品番のみ選択可能です。
防　犯	マグネットスイッチを設置した住戸玄関や窓が開いたときに防犯警報します。
未使用	汎用入力を使用しない場合に設定します。

●最大設定可能回路数と設定可能回路について

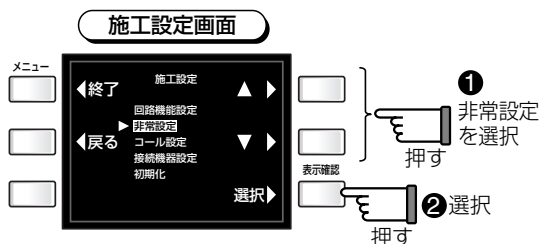
機　能	最大設定可能回路数	設定可能回路		
		1	2	3
非　常	1回路	○	○	○
コール	3回路	●	●	○
スプリンクラー	1回路	○	○	○
防　犯	2回路	○	○	○

○：設定可能であることを示します。
●：出荷時設定であることを示します。

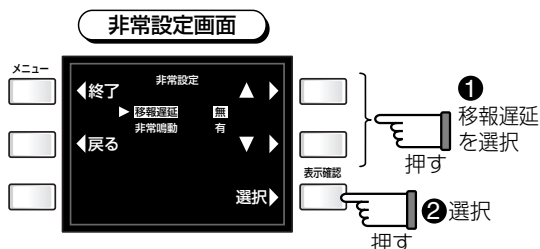
4 設定を終了する

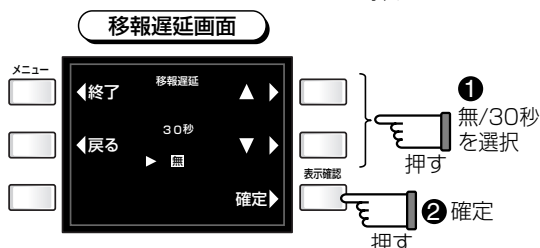
●終了ボタンを押し、待機画面(画面に何も表示されていない状態)にする。

非常設定

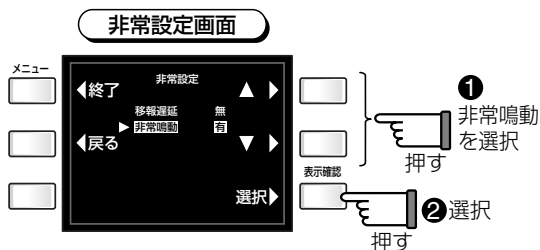
1 施工設定画面の 非常設定 を選択する

移報遅延

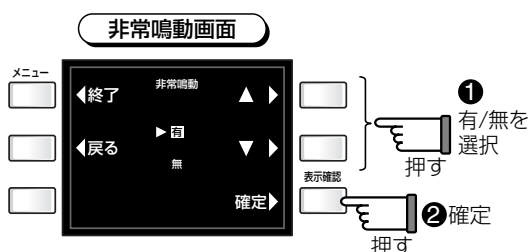
●非常発生時に住戸玄関・管理室へ警報が移報されるまでの遅延時間を設定します。

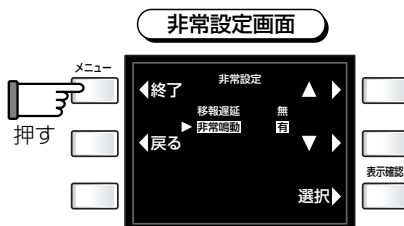
2 移報遅延 を選択する

3 無 30秒 のいずれかを選択する

無	親機と同時に住戸玄関・管理室へ移報されます。
30秒	親機の警報から約30秒後に住戸玄関・管理室へ移報されます。

非常鳴動

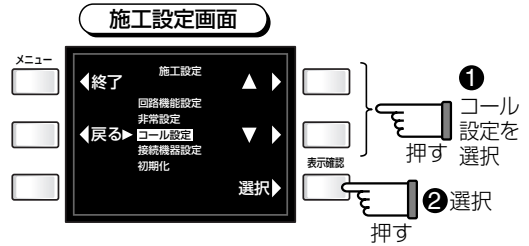
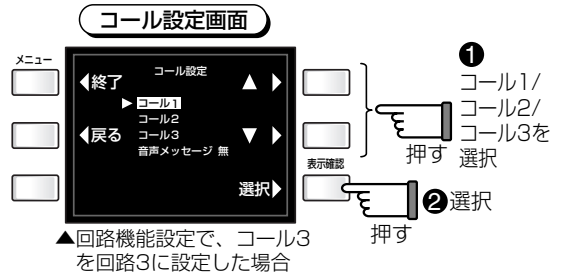
●非常発生時に警報音を鳴動させるかさせないかを設定します。

4 非常鳴動 を選択する

5 有 無 のいずれかを選択する

有	非常発生時に警報音を鳴動させます。
無	非常発生時に警報音を鳴動させません。 ただし、管理室に移報されドアホン子器の警報表示灯が点滅します。

6 設定を終了する

●終了ボタンを押し、待機画面(画面に何も表示されていない状態)にする。

コール設定 コール1 コール2 コール3

●設定内容および操作方法は、コール1・コール2・コール3とも同じです。
　コール設定画面で「コール2」「コール3」を選択して「コール1」と同様に設定してください。

1 施工設定画面の コール設定 を選択する

2 コール1 コール2 コール3 のいずれかを選択する

▲回路機能設定で、コール3を回路3に設定した場合

機能切替

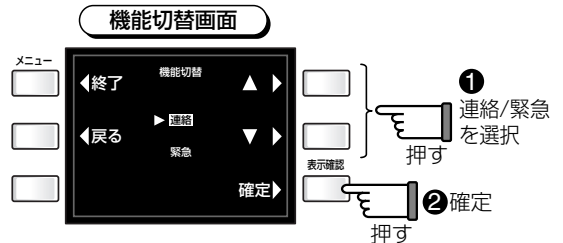
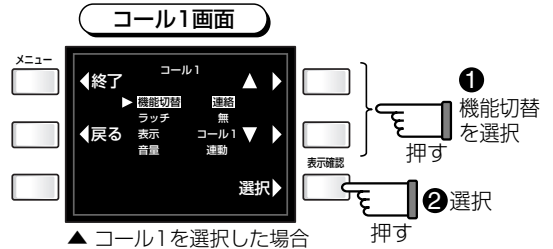
●コール1(コール2の場合はコール2・コール3の場合はコール3) からの呼び出しを「コール(連絡)」にするか「緊急コール警報」にするかを設定します。

▲ コール1を選択した場合

3 機能切替 を選択する

4 連絡 緊急 のいずれかを選択する

連　絡	コール(連絡)します。「プップップー」が鳴ります。
緊　急	緊急コール警報します。「ピーポー・ピーポー・ピーポー、早く来てください。」が鳴ります。

注 「緊急」に設定した場合、管理室または住戸玄関に移報されます。
（住戸玄関への移報をしないようにすることもできます。【➡「ドアホン移報」(36ページ)】）

移報遅延

●住戸玄関・管理室へ緊急コール警報が移報されるまでの遅延時間を設定します。

注 機能切替設定で「緊急」に設定されている場合のみ設定できます。
（「連絡」に設定されている場合、「移報遅延」は使用できません。）

▲ コール1を選択した場合

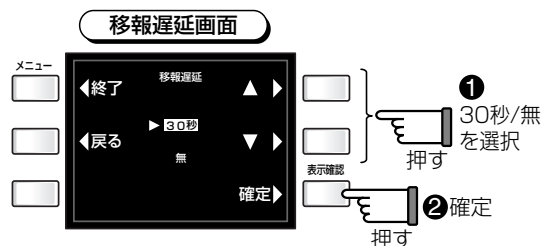
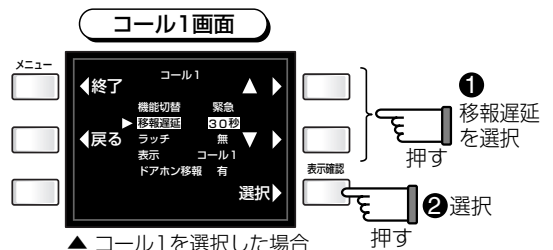
5 移報遅延 を選択する

6 30秒 無 のいずれかを選択する

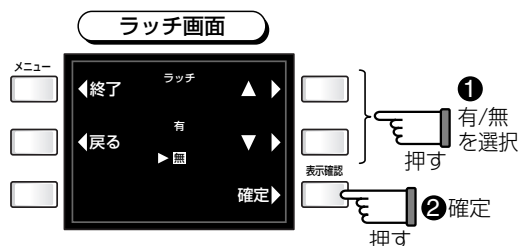
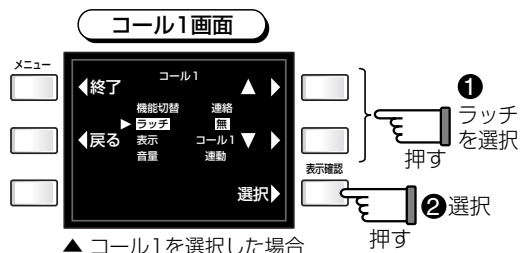
30秒	親機の警報から約30秒後に住戸玄関・管理室へ移報されます。
無	親機と同時に住戸玄関・管理室へ移報されます。

ラッチ(自己保持機能)

●コール用押釦が元に戻ったとき、警報を継続させるかさせないかを設定します。

▲ コール1を選択した場合

7 [ラッチ] を選択する

8 [有] [無] のいずれかを選択する

無	押された押釦を元に戻すと、警報は停止します。(自己保持機能　無)
有	押された押釦が元に戻っても警報は継続します。親機の警報音停止ボタンを押して警報音を停止してください。(自己保持機能　有) 注 **警報音を停止した後､約20秒間経過しても親機の画面の表示が点滅している場合は､押釦が押されたままになっています。押された押釦を元に戻して復旧してください。**

表示(画面の表示)

●コール1(コール2の場合はコール2・コール3の場合はコール3)からの呼び出し時、画面の表示を何にするかを設定します。

注
●表示(画面の表示)は全住戸一括の設定の場合､統合盤または警報監視盤、システム制御装置からの遠隔設定が可能です。詳細は統合盤または警報監視盤、システム制御装置に付属の設定マニュアルを参照してください。
●全住戸一括での設定をしない場合は、住戸ごとの設定をしてください。

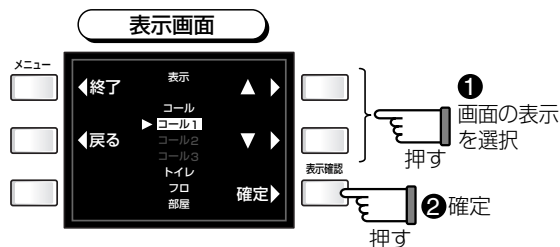
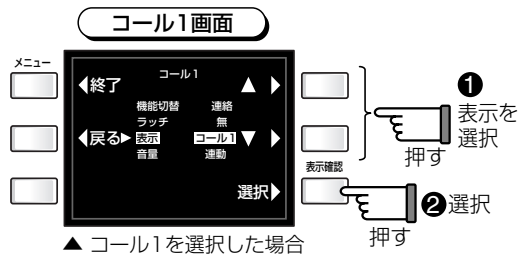
▲ コール1を選択した場合

9 [表示] を選択する

10 [コール] [コール1] [トイレ] [フロ] [部屋] のいずれかを選択する

設定内容	コール1	コール2	コール3
画面の表示	コール1	コール2	コール3

設定内容	コール	トイレ	フ　ロ	部　屋
画面の表示	コール	トイレ	フロ	部屋

36ページ 11 へつづく

音量(連絡コール)

●コール1(コール2の場合はコール2・コール3の場合はコール3)から呼ばれたときに親機から鳴る呼出音の音量を設定します。

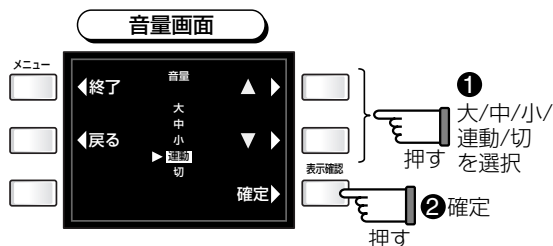
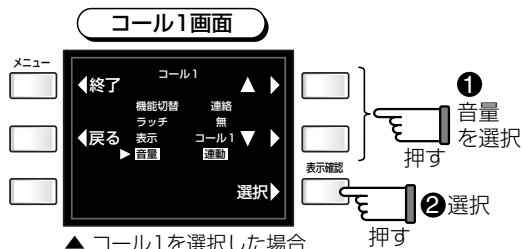
注 ●機能切替設定で「連絡」に設定されている場合のみ設定できます。
(「緊急」に設定されている場合、「音量(連絡コール)」は使用できません。)

●「緊急」に設定されている場合は、大の音量が鳴動します。

▲ コール1を選択した場合

11 音量 を選択する

12 大 中 小 連動 切 のいずれかを選択する

音量は
大 中 小 連動 切 のいずれかに設定できます。
連動 :親機で設定した来客時の呼出音の音量と同じ音量で鳴ります。
切 :呼出音は鳴りません。

ドアホン移報

●コール用押釦を押したとき、住戸玄関から警報音を鳴らすか鳴らさないかを設定します。

注 機能切替設定で「緊急」に設定されている場合のみ設定できます。
(「連絡」に設定されている場合、ドアホンへの移報は行われません。)

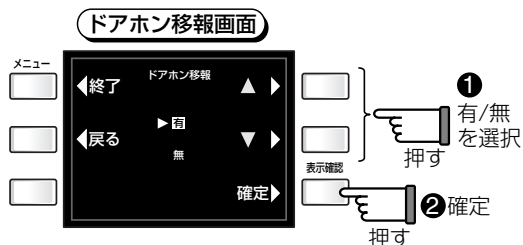
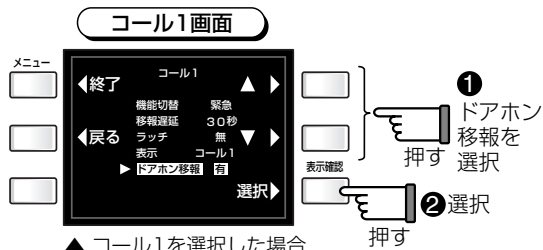
コール1画面
メニュー
終了
コール1
機能切替 緊急
移報遅延 30秒
ラッチ 無
表示 コール1
ドアホン移報 有
戻る
表示確認
選択
❶ドアホン移報を選択
押す
❷選択
押す

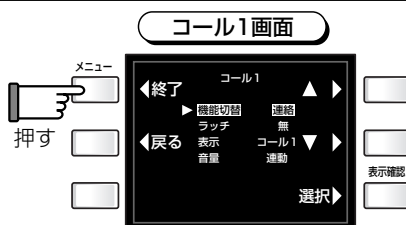
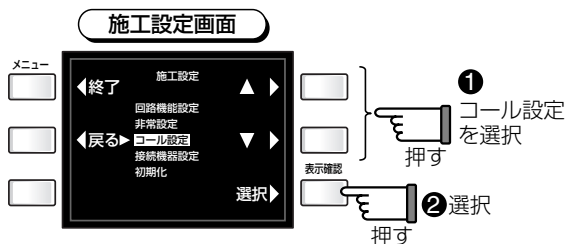
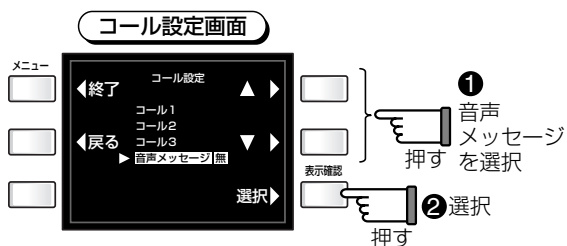
▲ コール1を選択した場合

13 ドアホン移報 を選択する

14 有 無 のいずれかを選択する

有	コール用押釦を押すと、住戸玄関から警報音が鳴ります。
無	コール用押釦を押しても、住戸玄関から警報音は鳴りません。ドアホン子器の警報表示灯は点滅します。

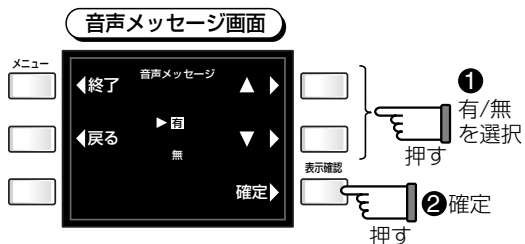
---

15 設定を終了する

●終了ボタンを押し、待機画面(画面に何も表示されていない状態)にする。

1 施工設定画面の コール設定 を選択する

2 音声メッセージ を選択する

音声メッセージ

●コール用押釦を押したとき、親機・増設スピーカーから呼出元を鳴動させることができます。

注 表示(画面の表示)設定で「トイレ」「フロ」「部屋」に設定されている場合のみ表示場所を音声で鳴動します。

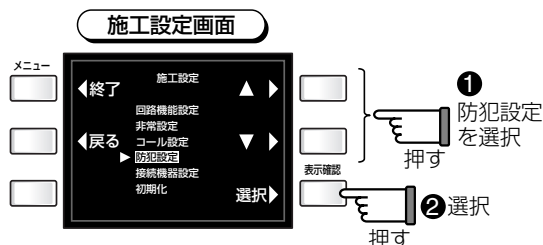
3 有 無 のいずれかを選択する

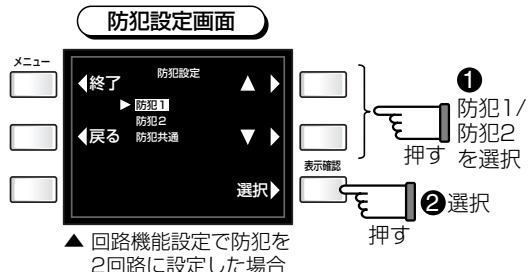
有	コール用押釦を押すと、親機・増設スピーカーから呼出元を鳴動させることができます。
無	コール用押釦を押しても、親機・増設スピーカーから呼出元を鳴動させることはできません。

4 設定を終了する

●終了ボタンを押し、待機画面(画面に何も表示されていない状態)にする。

防犯設定 防犯1 防犯2

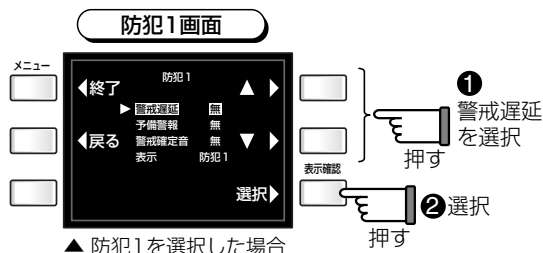
●設定内容および操作方法は、防犯1・防犯2とも同じです。
　防犯設定画面で「防犯2」を選択して「防犯1」と同様に設定してください。

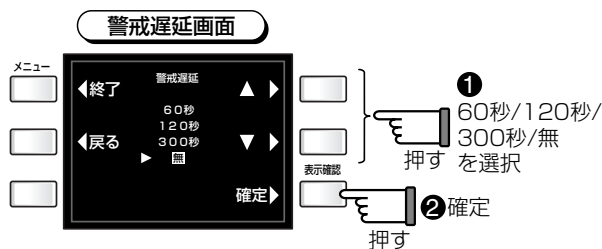
1 施工設定画面の 防犯設定 を選択する

2 防犯1 防犯2 のいずれかを選択する

▲ 回路機能設定で防犯を
2回路に設定した場合

警戒遅延

●防犯セット操作後、防犯警戒状態になるまでの時間を
設定します。

3 警戒遅延 を選択する

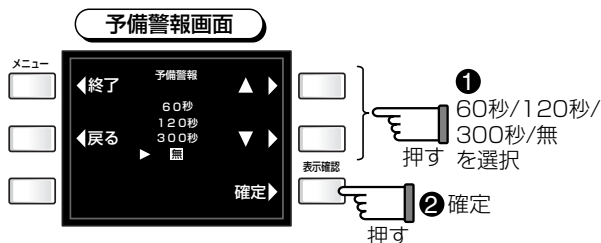
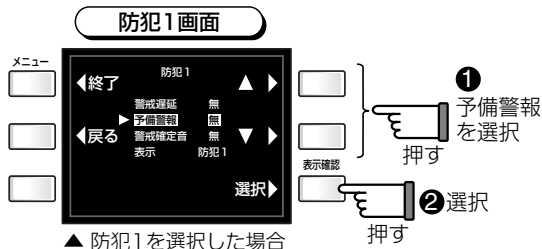
▲ 防犯1を選択した場合

4 60秒 120秒 300秒 無 のいずれかを選択する

60秒	防犯セット操作後、 約60秒後に防犯警戒状態になります。
120秒	防犯セット操作後、 約120秒後に防犯警戒状態になります。
300秒	防犯セット操作後、 約300秒後に防犯警戒状態になります。
無	防犯セット操作後、即時警戒を開始します。

予備警報

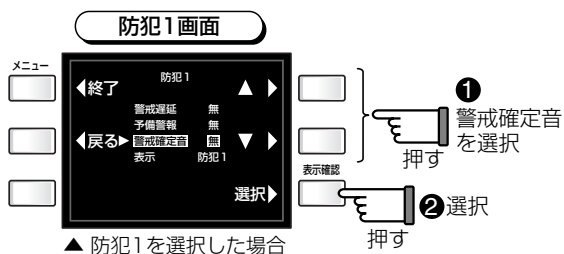
●防犯警戒中に扉を開けた場合のマグネットスイッチが作動してから防犯警報するまでの時間を設定します。

5 予備警報を選択する

6 60秒 120秒 300秒 無 のいずれかを選択する

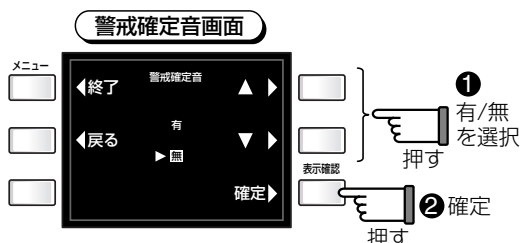
60秒	防犯警戒中に扉を開けると約60秒間予備警報し、その後防犯警報します。
120秒	防犯警戒中に扉を開けると約120秒間予備警報し、その後防犯警報します。
300秒	防犯警戒中に扉を開けると約300秒間予備警報し、その後防犯警報します。
無	防犯警戒中に扉を開けると即時、防犯警報します。

警戒確定音

●防犯セット操作後、防犯警戒状態になる15秒前から5秒ごとに予告音「ピッピッピッ」、防犯警戒状態が開始になったときに確定音「ピー」を鳴らすか鳴らさないかを設定します。 戸締まり確認状態（マグネットスイッチを設置した窓・扉が大きく開いたままで防犯セット操作を行った状態）のときには予告音・確定音は鳴りません。

7 警戒確定音 を選択する

8 有 無 のいずれかを選択する

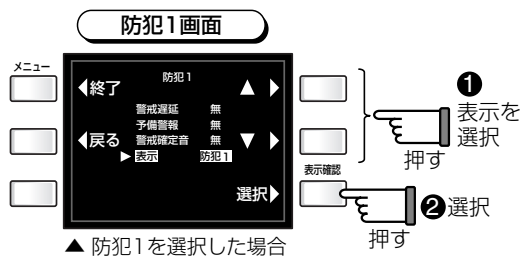
有	防犯セット操作後、防犯警戒状態に入るまでの時間に予告音、防犯警戒状態が開始になったときに確定音が鳴ります。
無	防犯セット操作後、防犯警戒状態に入るまでの時間に予告音、防犯警戒状態が開始になったときに確定音は鳴りません。

40ページ 9 へつづく

機能設定

表示(画面の表示)

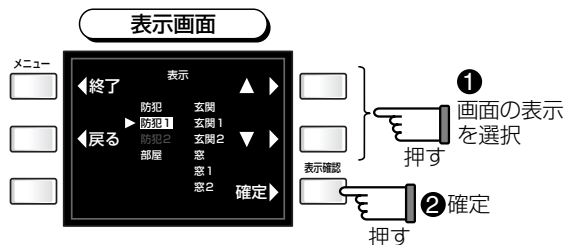
●防犯1(防犯2の場合は防犯2)の予備警報および防犯警報時、画面の表示を何にするかを設定します。

9 表示 を選択する

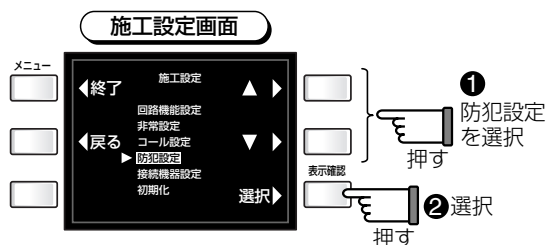
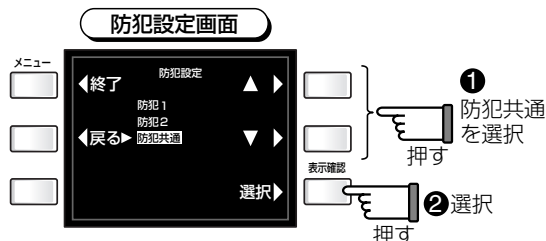
▲ 防犯1を選択した場合

10 防犯 防犯1 部屋 玄関 玄関1 玄関2 窓 窓1 窓2 のいずれかを選択する

設定内容	防犯	防犯1	防犯2
画面の表示	防犯	防犯1	防犯2

設定内容	部屋	玄関	玄関1	玄関2
画面の表示	部屋	玄関	玄関1	玄関2

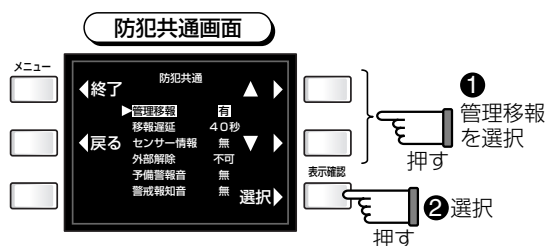
設定内容	窓	窓1	窓2
画面の表示	窓	窓1	窓2

11 設定を終了する

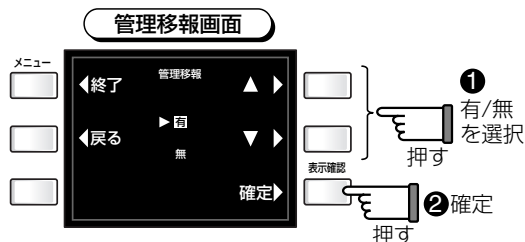
●終了ボタンを押し、待機画面(画面に何も表示されていない状態)にする。

1 施工設定画面の 防犯設定 を選択する

2 防犯共通 を選択する

管理移報

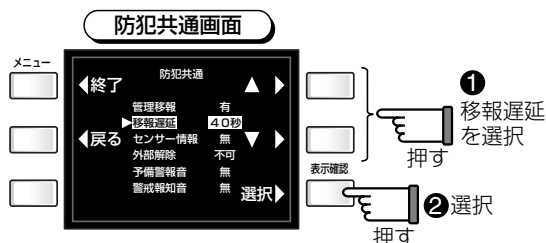
●管理室へ防犯警報を移報させるかさせないかを設定します。

注 「無」に設定してもドアホンへの移報は行われます。

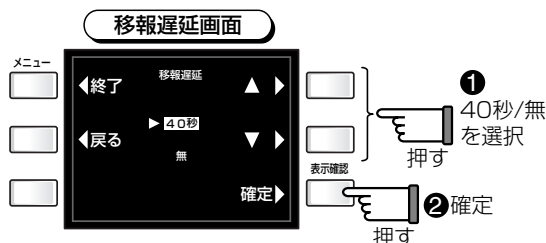
3 管理移報 を選択する

4 有 無 のいずれかを選択する

有	防犯警報を管理室に移報します。
無	防犯警報を管理室に移報しません。

移報遅延

●住戸玄関･管理室へ防犯警報が移報されるまでの遅延時間を設定します。

5 移報遅延 選択する

6 40秒 無 のいずれかを選択する

40秒	防犯警報の鳴動から約40秒後に住戸玄関･管理室へ警報されます。
無	防犯警報の鳴動と同時に住戸玄関･管理室へ警報されます。

42ページ 7 へつづく

機能設定

センサー情報

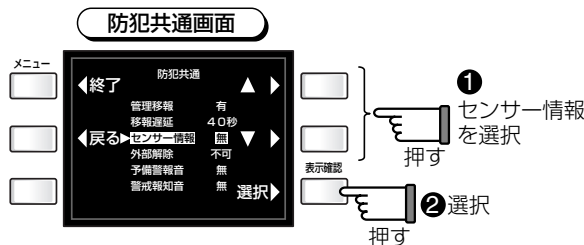
●防犯警報時、扉の開閉状態の情報を管理室へ移報するときに設定します。

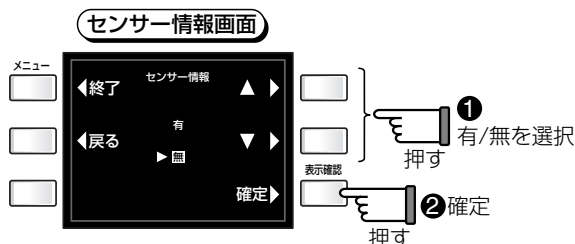
7 センサー情報 を選択する

防犯共通画面

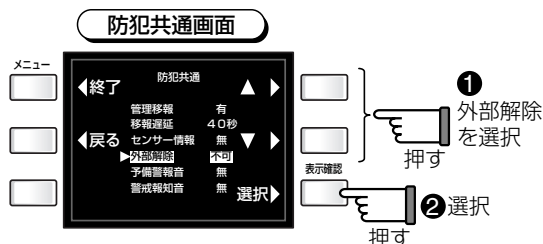
メニュー ◀終了 防犯共通 ▲ ▶ 管理移報 有 移報遅延 40秒 ◀戻る ▶センサー情報 無 ▼ ▶ 外部解除 不可 予備警報音 無 警戒報知音 無 選択▶ 表示確認

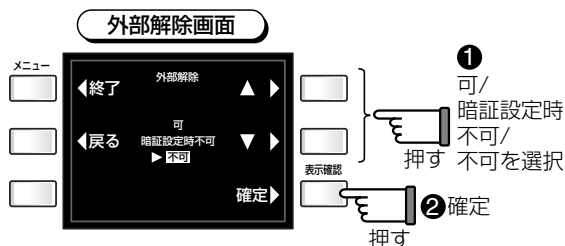
❶センサー情報を選択 押す

❷選択 押す

8 有 無 のいずれかを選択する

有	防犯警報発報時、扉の開閉状態の情報を管理室に移報します。
無	防犯警報発報時、扉の開閉状態の情報を管理室に移報しません。

外部解除

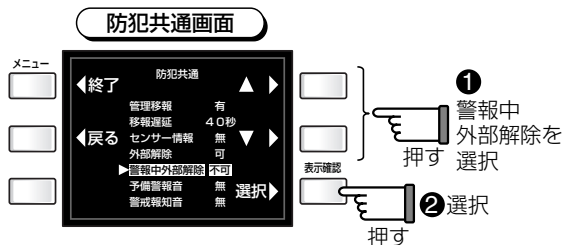
●すべての防犯回路を同時に外部防犯セットスイッチから警戒解除を可能にする機能設定です。

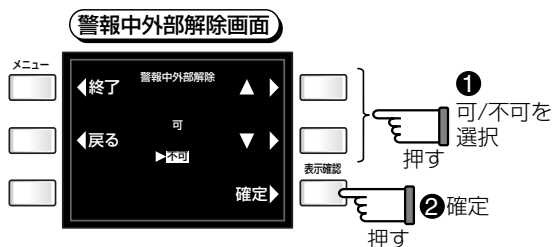
9 外部解除 を選択する

10 可 暗証設定時不可 不可 のいずれかを選択する

可	暗証番号が設定されていてもすべての防犯回路を外部防犯セットスイッチから警戒解除することができます。
暗証設定時不可	暗証番号が設定されている場合は、すべての防犯回路を外部防犯セットスイッチから警戒解除することはできません。
不可	すべての防犯回路を外部防犯セットスイッチから警戒解除することはできません。

警報中外部解除

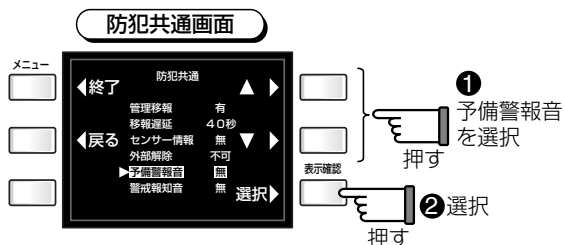
●防犯警報中でも防犯予備警報中でもすべての防犯回路を同時に外部防犯セットスイッチから警報解除を可能にする機能設定です。

注 「可」に設定する場合、防犯共通設定の「外部解除」を「可」に設定してください。

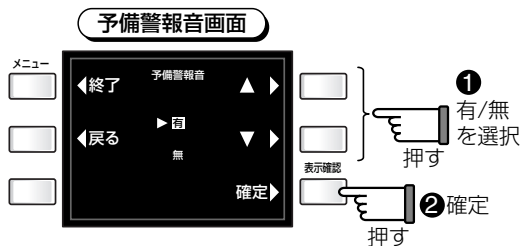
11 警報中外部解除 を選択する

12 可 不可 のいずれかを選択する

可	防犯警報中にすべての防犯回路を同時に外部防犯セットスイッチから警報解除することができます。
不可	防犯警報中にすべての防犯回路を同時に外部防犯スセットイッチから警報解除することができません。

予備警報音

●防犯予備警報の呼出メッセージの音声部分を鳴らすか鳴らさないかを設定します。

13 予備警報音 を選択する

14 有 無 のいずれかを選択する

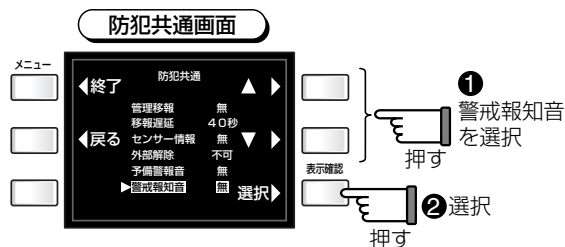
有	防犯予備警報音の音声部分が鳴ります。 (「ポン、防犯警戒中です」が鳴ります。)
無	防犯予備警報音の音声部分が鳴りません。 (「ポン」音のみ鳴ります。)

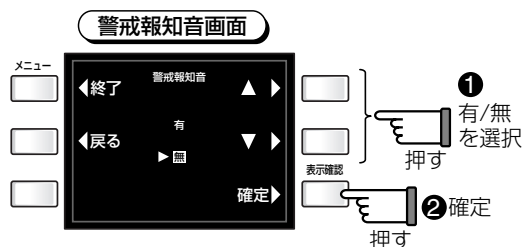
44ページ 15 へつづく

警戒報知音

●防犯回路が警戒セット状態および解除状態になったときに親機からメッセージを鳴動させるかさせないかを設定します。

注 **「有」に設定し、防犯設定の「警戒確定音」を「有」に設定した場合、警戒セット状態になったときに警戒報知のメッセージが鳴動して、警戒確定音「ピー」は鳴動しません。**

15 警戒報知音 を選択する

防犯共通画面
メニュー
終了
防犯共通
管理移報 無
移報遅延 40秒
センサー情報 無
外部解除 不可
予備警報音 無
▶警戒報知音 無
戻る
選択
表示確認
❶警戒報知音を選択
押す
❷選択
押す

16 有 無 のいずれかを選択する

有	防犯回路が警戒セット状態および解除状態になったときに親機からメッセージが鳴動します。
無	防犯回路が警戒セット状態および解除状態になったときに親機からメッセージが鳴動しません。

17 設定を終了する

●終了ボタンを押し、待機画面(画面に何も表示されていない状態)にする。

1 施工設定画面の 接続機器設定 を選択する

施工設定画面

メニュー

終了 施工設定 ▲

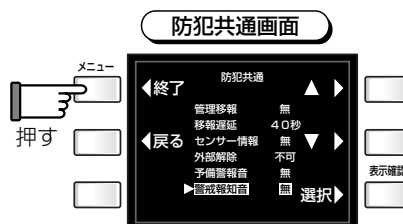
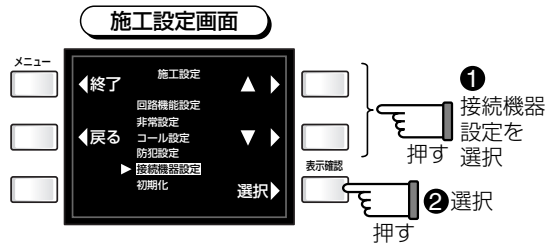
回路機能設定
非常設定
コール設定
防犯設定
▶接続機器設定
初期化

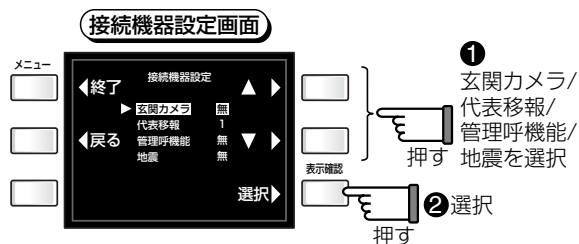
戻る ▼

選択

表示確認

❶ 接続機器設定を選択 押す

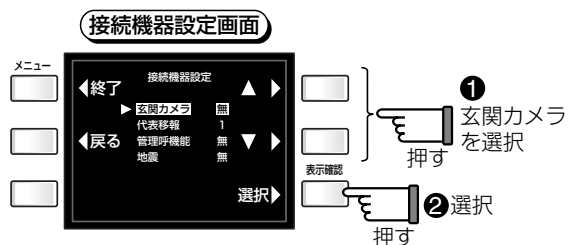
❷ 選択 押す

2 玄関カメラ 代表移報 管理呼機能 地震 のいずれかを選択する

注 SHVT11431W・SHVB11431Wの場合は、「玄関カメラ 無」は表示されません。

玄関カメラ

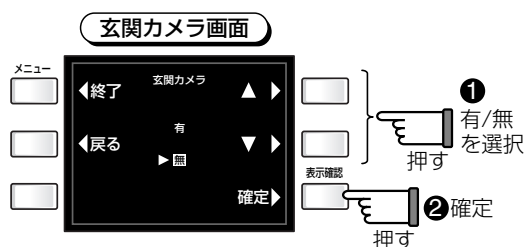
SHVT18431W・SHVT68431W・SHVB18431W・SHVB68431Wの場合のみ設定できます。

●カラーカメラ付ドアホン子器を接続するか接続しないかを設定します。

注 カラーカメラ付ドアホン子器を接続していて、「無」に設定した場合、呼び出し・通話時にカメラ映像を画面に表示しません。

3 玄関カメラ を選択する

4 有 無 のいずれかを選択する

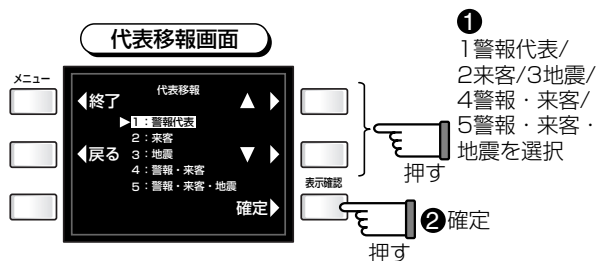
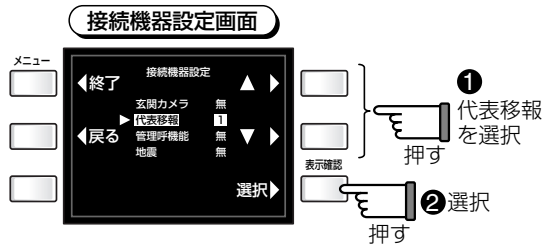
有	カラーカメラ付ドアホン子器が接続されている場合に設定します。
無	カラーカメラ付ドアホン子器が接続されていない場合に設定します。

46ページ 5 へつづく

代表移報

●代表移報出力の内容を設定します。

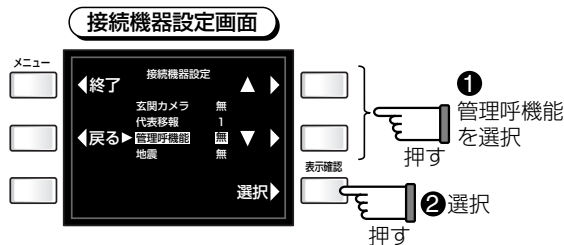
5 代表移報 を選択する

6 1 警報代表 2 来客 3 地震 4 警報・来客 5 警報・来客・地震 のいずれかを選択する

警報代表	警報発生時に移報出力を行います。
来　客	共同玄関・住戸玄関からの呼出時に移報出力を行います。
地　震	緊急地震速報(予報)を受信時に移報出力を行います。
警報・来客	警報発生時および共同玄関・住戸玄関からの呼出時に移報出力を行います。
警報・来客地震	警報発生時、共同玄関・住戸玄関からの呼出時および緊急地震速報(予報)を受信時に移報出力を行います。

管理呼機能

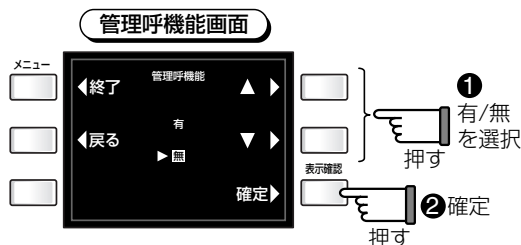
●住戸から管理室への呼び出しができるかできないかを設定します。

●管理呼機能設定は全住戸一括の設定の場合、統合盤または警報監視盤からの遠隔設定が可能です。詳細は統合盤または警報監視盤に付属の設定マニュアルを参照してください。
●全住戸一括での設定をしない場合は、住戸ごとの設定をしてください。

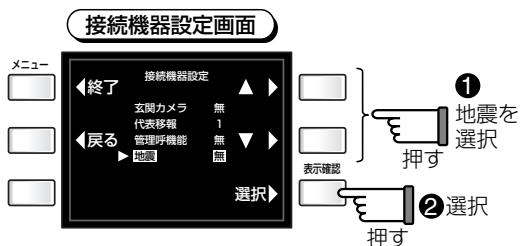
7 管理呼機能 を選択する

8 有 無 のいずれかを選択する

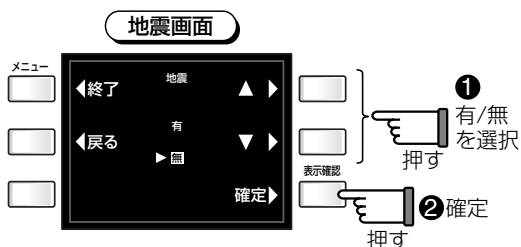
有	住戸から管理室への呼び出しができます。
無	住戸から管理室への呼び出しができません。

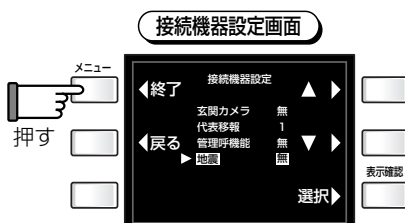
注 統合盤または警報監視盤側で呼び出せる住戸を限定している場合は、住戸から管理室を呼び出せません。
(統合盤または警報監視盤に付属の設定マニュアルを参照してください。)

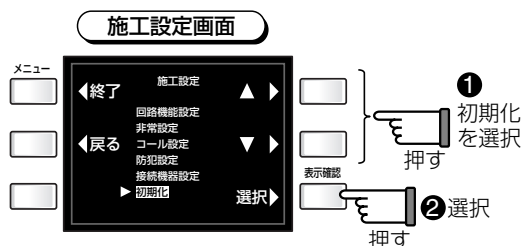
地　震

●緊急地震速報インターフェース盤を接続するか接続しないかを設定します。

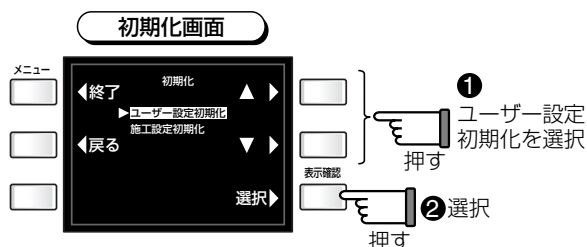
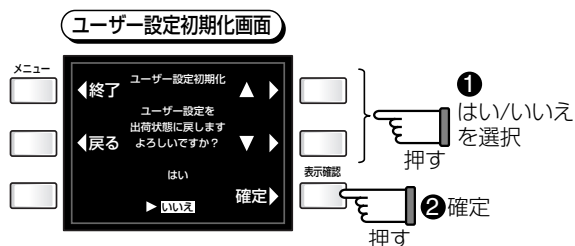
注 **緊急地震速報信号を受けると、自動的に「有」に設定変更されます。**

9 を選択する

10 有 無 のいずれかを選択する

有	緊急地震速報インターフェース盤が接続されている場合に設定します。
無	緊急地震速報インターフェース盤が接続されていない場合に設定します。

11 設定を終了する

●終了ボタンを押し、待機画面(画面に何も表示されていない状態)にする。

ユーザー設定初期化

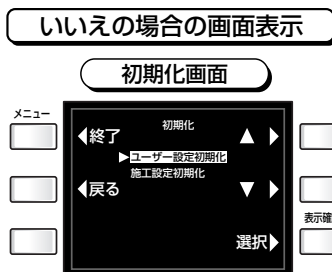
●すべてのユーザー設定データを消去し、出荷時状態に戻します。

1 施工設定画面の 初期化 を選択する

2 ユーザー設定初期化 を選択する

3 はい いいえ のいずれかを選択する

4 はい を選択した場合

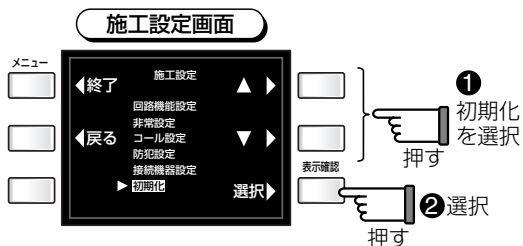
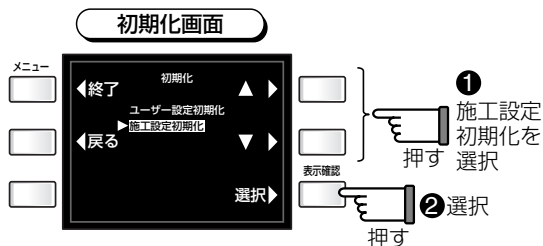
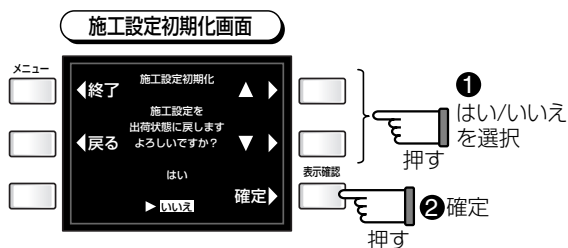
●画面に「処理中」が点滅表示される。

ユーザー設定データをすべて消去すると待機画面(画面に何も表示されていない状態)になる。

いいえ を選択した場合

●初期化画面に戻る。

施工設定初期化

●すべての施工設定データを消去し、出荷時状態に戻します。

1 施工設定画面の 初期化 を選択する

2 施工設定初期化 を選択する

3 はい いいえ のいずれかを選択する

4 はい を選択した場合

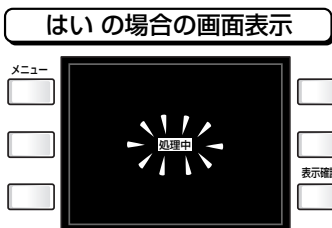
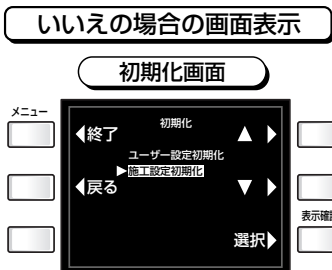
●画面に「処理中」が点滅表示される。

施工設定データをすべて消去すると待機画面(画面に何も表示されていない状態)になる。

はい の場合の画面表示

いいえ を選択した場合

●初期化画面に戻る。

いいえの場合の画面表示

ユーザー設定

●ユーザー設定の設定方法については、取扱説明書を

設定項目		設定内容
呼出音量		共同玄関・住戸玄関・管理室から呼ばれたときに親機から鳴る呼出音の音量を設定します。
地震報知音量		震度4、震度3、誤報の際の地震報知の音量を設定します。
玄関呼出回数		住戸玄関からの呼出時の呼出回数を設定します。
画質		住戸玄関のカメラ映像を夜間など周囲が暗いとき、白黒映像で撮像するかカラー映像で撮像するかを設定します。
防犯設定	暗証番号	防犯警戒を解除するための暗証番号を設定します。
	ドアホン報知	外部防犯セットスイッチ・ドアホン子器で防犯の警戒セット・警戒解除を行ったときに警戒セットの状態を住戸玄関からメッセージや報知音でお知らせする機能を設定します。 施工設定の警戒報知の有無に関係なくドアホンからのメッセージ・報知音の鳴動有無を設定できます。 注 **外部防犯セットスイッチで防犯を警戒解除するには、「外部解除」(➡ 42ページ)および、必要に応じて、「警報中外部解除」(➡ 43ページ)を「可」に設定してください。**

参照してください。

出荷時設定	設定できる内容
大	▶ 特大 大 中 小 切：呼出音は鳴りません。
震度3/4：中 誤　報：中	▶ 大 中 小 切：地震報知音は鳴りません。 注 **詳細震度表示の場合は、一度地震情報を受信すると、震度3と震度4が個別に設定できるようになります。**
1回	▶ 1回：住戸玄関からの呼出時、呼出音を1回鳴動させます。 連続：住戸玄関からの呼出時、呼出音を連続して30秒間鳴動させます。
カラー固定	▶ 自動切替：●カラー映像で撮像します。ただし、周囲が暗くなるとカラーカメラ付ドアホン子器は自動的に内蔵の赤外線照明を点灯させて撮像します。（淡いカラー映像）しかし、周囲が常に暗い場所では、ほぼ白黒映像になります。（赤外線照明の照射距離が約50cmのため、それ以上離れている背景などは映し出しません。） カラー固定：●常にカラー映像で撮像します。ただし、周囲が暗すぎる場合、画面が真っ暗になることがあります。（赤外線照明は点灯しません。）〔常にカラー映像で撮像するためには被写体照度は5ルクス以上必要です。〕
未設定	▶ 有：4ケタの数字 無
無	▶ メッセージ： 住戸玄関からメッセージが流れます。 警戒セット時：警戒状態に入りました。 戸締まり警戒時：戸締まりを確認してください。 警戒解除時：警戒状態を解除しました。 報知音： 住戸玄関から報知音が鳴動します。 警戒セット時：ピー 戸締まり警戒時：ピピピ 警戒解除時：ピッ 無： 住戸玄関からメッセージ・報知音は鳴動しません。

ガス警報器の有効期限と交換

ガス警報器の有効期限について

●親機に接続するガス警報器には機能を維持するための有効期限が定められています。
●有効期限が過ぎる前に必ず新しいガス警報器にお取り換えください。
　お取り換え後は必ず動作確認をお願いします。
●適合ガス警報器は、ガス警報器工業会の都市ガス警報器有電圧出力統一基準に適合した以下のものに限ります。

- **有電圧2段階出力タイプ**
  (平常時：DC6V、ガスもれ警報時：DC12V、機器または配線異常時：0V)
- **有電圧3段階出力タイプ(不完全燃焼(CO)警報機能付)**
  (平常時：DC6V、ガスもれ警報時：DC12V、不完全燃焼警報時：DC18V、機器または配線異常時：0V)

ガス警報器の交換について

●ガス警報器を交換する場合は、親機側で下記の設定が必要です。
設定せずに交換すると、ガス機器異常警報音「ピー」音が鳴ります。(管理室へも通報されます。)
●ガス機器異常設定スイッチ以外は触らないでください。設定を変更すると、システムが正しく動作しません。

交換時の設定手順

❶ 親機の化粧枠を取りはずす。

❷ ガス機器異常設定スイッチを「ON(右)」側(警報しない)にする。

注 **「OFF(左)」側で交換すると、ガス機器異常警報音「ピー」音が鳴ります。**

OFF ON
2 「ON(右)」側

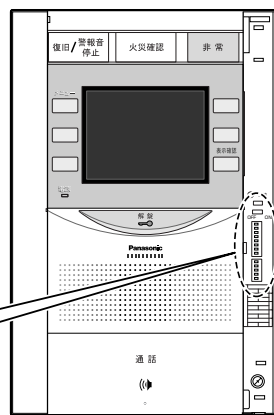
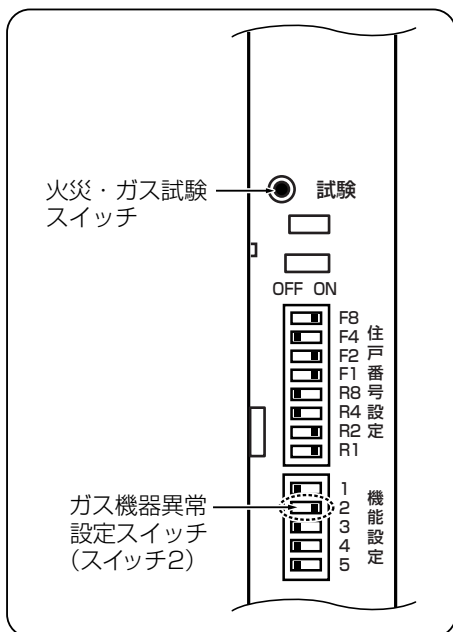
❸ ガス警報器を交換する。

❹ ガス機器異常設定スイッチを「OFF(左)」側(警報する)にする。

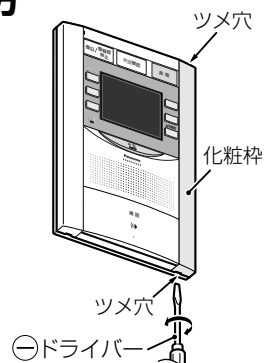
注 **必ず「OFF(左)」側にしてください。「OFF(左)」側にしないと、ガス機器異常が発生しても警報しません。**

OFF ON
2 「OFF(左)」側

❺ 親機の化粧枠を取り付ける。

・図はSHVT品番(埋込型)の場合を示します。

親機

■化粧枠のはずし方

⊖ドライバーなどをツメ穴に差し込み、起こして開ける。

(ツメ穴は本体の底面と天面にあります。)

施工後の動作確認方法

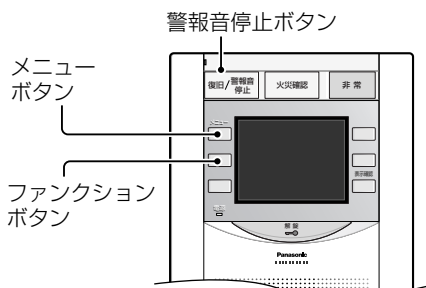
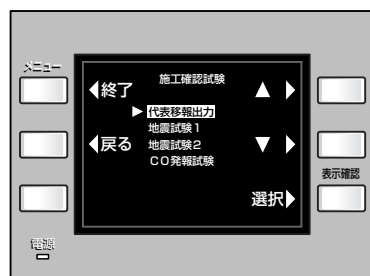
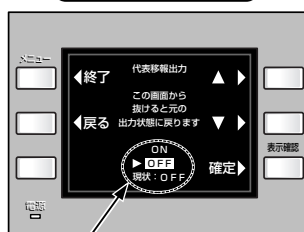
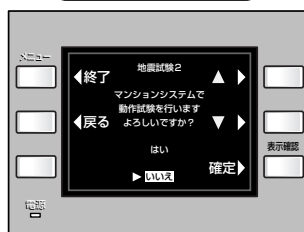
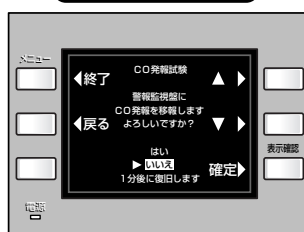
●施工後、取扱説明書にしたがって動作の確認を行ってください。
戸外点検についてはカラーカメラ付ドアホン子器（遠隔試験端子付）（別売）または警報表示付ドアホン子器（遠隔試験端子付）（別売）、遠隔試験中継器（別売）、外部試験器（別売）に付属の説明書にしたがって確認を行ってください。

●戸外および管理室にも警報音が出ますので注意してください。
●戸外点検時には、親機から警報音は鳴りません。

施工確認試験について

30秒以上操作しない場合は待機状態に戻ります。

操作方法

1. **待機状態でメニューボタンを押す**
（画面に何も表示されていない状態）
2. **親機の警報音停止ボタンとファンクションボタンを同時に3秒以上押す**
3. **施工確認試験画面になる**

画面の基本操作

●設定する項目を選択する	▲ボタン ➡ 上に移動
	▼ボタン ➡ 下に移動
●選択する	選択ボタン
●前の画面に戻る	戻るボタン
●待機画面に戻る（終了する）	終了ボタン

はい を選択

◀終了　テスト中

緊急地震速報
震度6弱
30秒後

詳細震度表示の場合

●緊急地震速報（予報）のテストを行います。

テストメッセージが鳴動します。
（テストメッセージについて➡取扱説明書）

※接続機器設定で「代表移報」を「地震」「警報・来客・地震」に設定した場合、移報出力されます。（➡46ページ）

統合盤または警報監視盤、システム制御装置が接続されている場合

はい を選択

警報監視盤から
地震試験信号を
待っています

統合盤または警報監視盤、システム制御装置が
・接続されていない場合
または
・配線が断線または短絡している場合

◀終了

警報監視盤から
地震試験信号が
来ませんでした

はい を選択

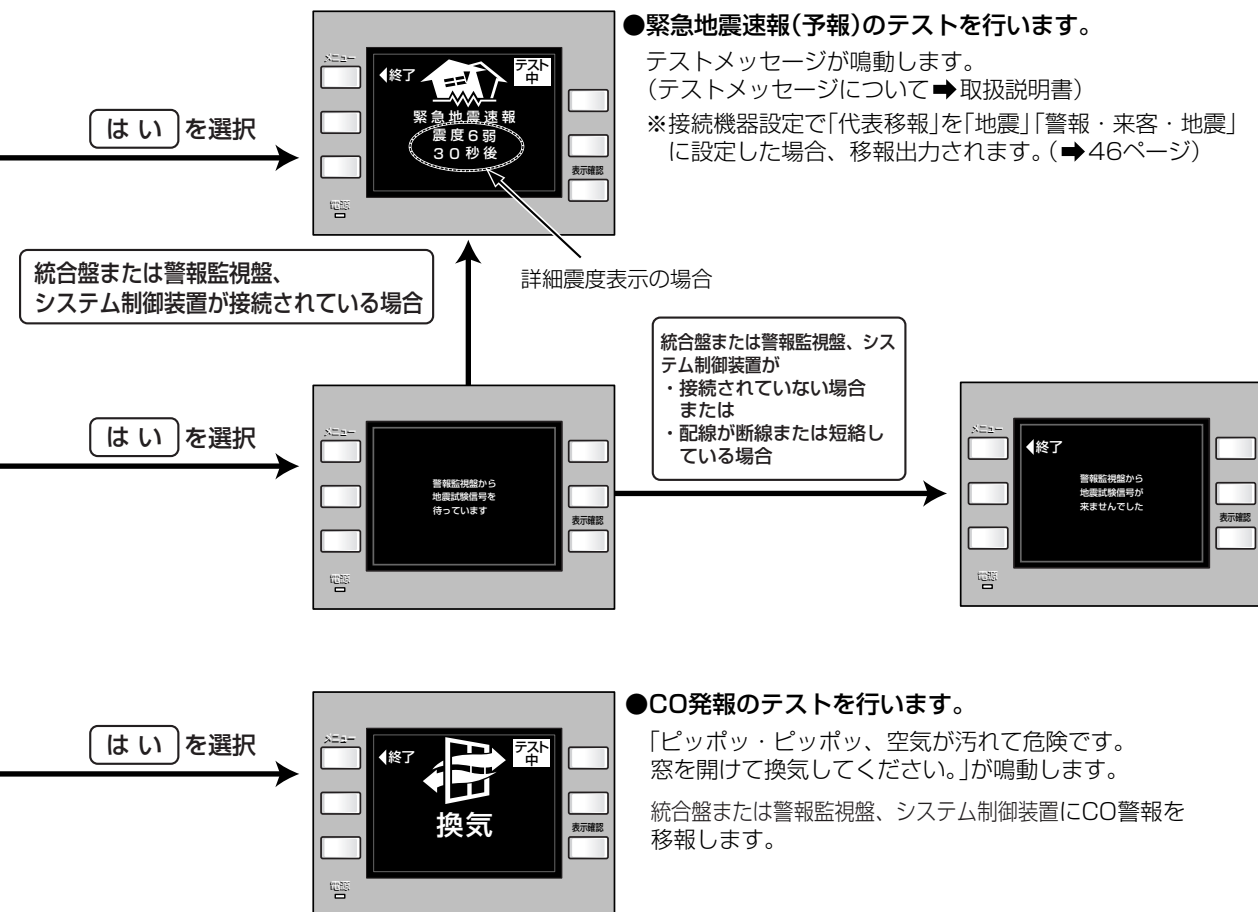
◀終了　テスト中

換気

●CO発報のテストを行います。

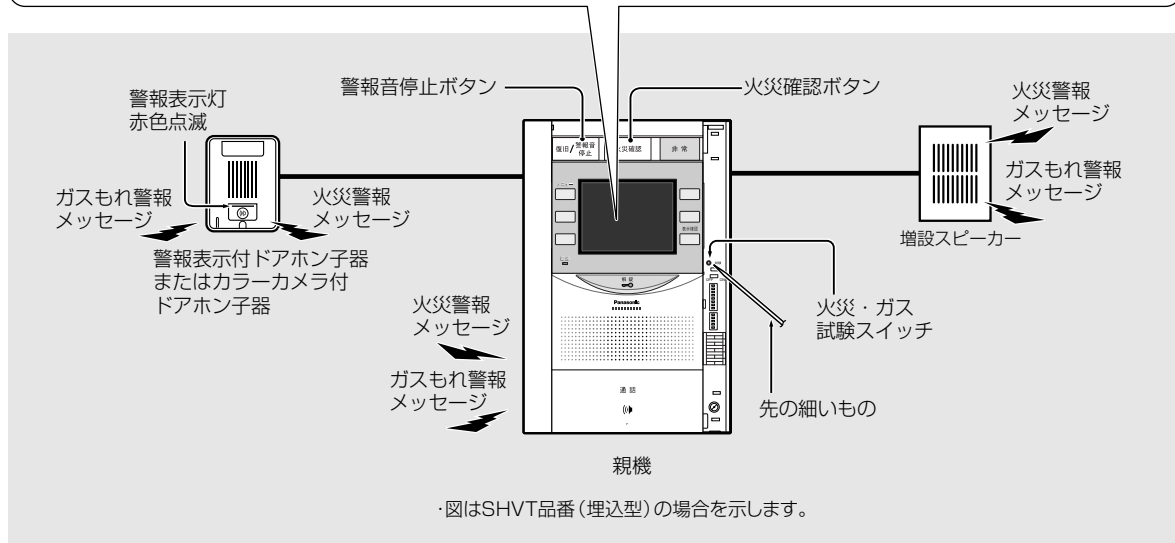
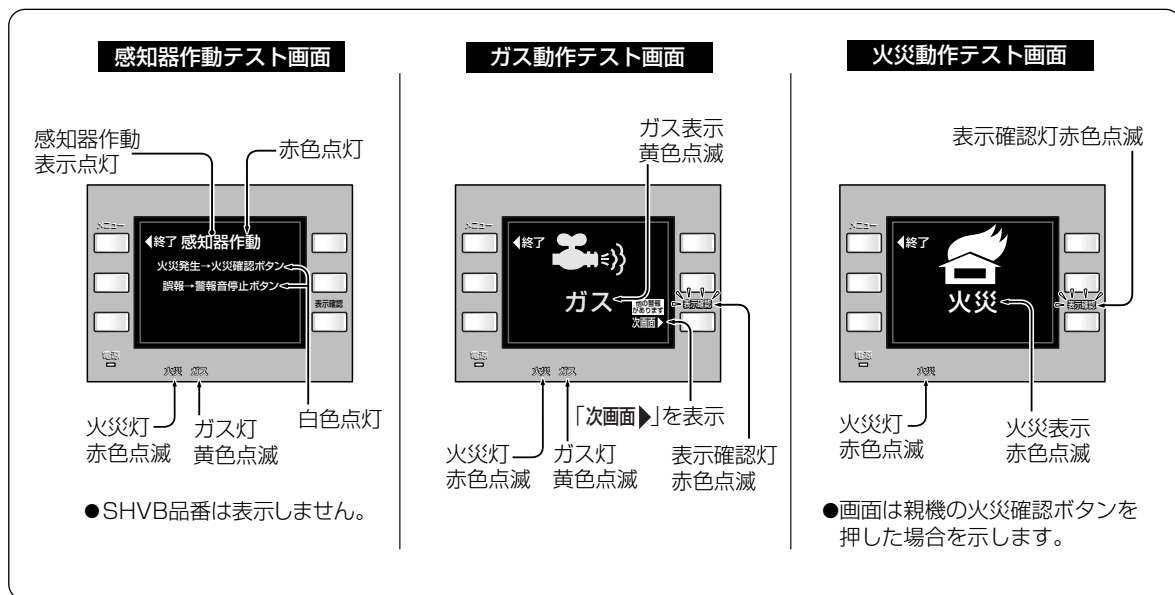
「ピッポッ・ピッポッ、空気が汚れて危険です。窓を開けて換気してください。」が鳴動します。

統合盤または警報監視盤、システム制御装置にCO警報を移報します。

火災・ガス動作テスト

感知器・ガス警報器が設置されていなければ動作テストの必要はありません。

施工業者様・点検実施店様へ　※住棟受信機は、SHVT品番のみ接続可能です。

- ●このテストは親機の警報動作テストです。
  火災・ガス試験スイッチ（➡52ページ）では、感知器およびガス警報器の動作テストはできません。
- ●統合盤または住棟受信機側で試験復旧や地区音響停止などの移信停止処置を行ってください。
  （移信停止処置をしないと、統合盤または住棟受信機側に接続された機器が連動します。）
- ●統合盤または警報監視盤側およびシステム制御装置、インターフェース盤側で移報停止処置を行ってください。
  （移報停止処置をしないと、統合盤または警報監視盤側およびシステム制御装置、インターフェース盤側に接続された機器が連動します。）
- ●火災・ガス試験スイッチ以外は触らないでください。設定を変更すると、システムが正しく動作しません。
- ●戸外および管理室およびその先に接続されている外部機器などにも警報音が出ますので注意してください。

・図はSHVT品番（埋込型）の場合を示します。

SHVT品番の場合

1. 感知器動作テスト

❶ 親機の火災・ガス試験スイッチを先の細いもので押す。
❷ 親機のガス灯が黄色点滅し、感知器作動表示が赤色点灯、火災灯が赤色点滅する。

注 **ガス動作テストを行う場合は親機の火災・ガス試験スイッチを押し続けてください。**

❸ 警報表示付ドアホン子器またはカラーカメラ付ドアホン子器の警報表示灯が赤色点滅する。
❹ 親機・増設スピーカーから感知器作動警報メッセージ「ファン・フォン・ファン・フォン・ファン・フォン、火災感知器が作動しました。確認してください。」が鳴る。

2. ガス動作テスト

❶ 親機の火災·ガス試験スイッチを約40秒間押し続ける。
❷ 親機のガス表示が黄色点滅する。
（表示確認灯が赤色点滅し、「**次画面▶**」が表示されます。）
❸ 警報メッセージが、感知器作動警報メッセージからガスもれ警報メッセージ「ピッピッピッピッピッ、ガスもれです。」に変わる。
❹ 親機の火災·ガス試験スイッチをはなす。
❺ 親機の表示と警報メッセージがガスもれ警報から感知器作動警報に変わる。

3. 火災動作テスト

❶ 感知器作動警報メッセージを2分以上継続させるか、親機の火災確認ボタンを押す。
機能設定により感知器作動警報メッセージが火災確認警報メッセージに切り替わる時間を約2分または約5分に設定できます。
❷ 親機の火災灯と火災表示が赤色点滅する。
❸ 警報メッセージが、感知器作動警報メッセージから火災確認警報メッセージ「ファン・フォン・ファン・フォン・ファン・フォン、火事です。火事です。火災が発生しました。安全を確認のうえ、避難してください。ビュー・ビュー・ビュー」に変わる。

4. 復旧方法

親機の火災・ガス試験スイッチをはなしてください。

火災確認ボタンを押し、火災確認警報作動後、親機の警報音停止ボタンを押してください。
（統合盤または警報監視盤、住棟受信機の復旧操作を行ってください。）

親機の警報音停止ボタンを押してください。
（統合盤または警報監視盤、住棟受信機の復旧操作を行ってください。）

注 **この試験を行うと統合盤または警報監視盤およびシステム制御装置、その先に接続されている外部機器などにも警報が送信されます。**

SHVB品番の場合

1. 火災動作テスト

❶ 親機の火災・ガス試験スイッチを先の細いもので押す。
❷ 親機のガス灯が黄色点滅し、火災表示と火災灯が赤色点滅する。
❸ 警報表示付ドアホン子器またはカラーカメラ付ドアホン子器の警報表示灯が赤色点滅する。
❹ 各機器から警報メッセージ「ファン・フォン・ファン・フォン・ファン・フォン、火事です。火事です。火災が発生しました。安全を確認のうえ、避難してください。ビュー・ビュー・ビュー」が鳴る。

2. ガス動作テスト

❶ 親機の火災・ガス試験スイッチを約40秒間押し続ける。
❷ 親機のガス表示が黄色点滅する。
（表示確認灯が赤色点滅し、「**次画面▶**」が表示されます。）
❸ 警報メッセージが、火災警報メッセージからガスもれ警報メッセージ「ピッピッピッピッピッ、ガスもれです。」に変わる。

3. 復旧方法

親機の火災・ガス試験スイッチをはなしてください。
（警報監視盤または統合盤の復旧操作を行ってください。）

この試験を行うと警報監視盤および統合盤およびシステム制御装置、その先に接続されている外部機器などにも警報が送信されます。

その他

設定書き込みシート 親機の施工設定

●設定後、お客様の控えのため、設定状態を書き込んでお使いください。（✓ 印を記入してください。）

区分		項目	設定				
回路機能設定		回路1	□非常	□コール	□スプリンクラー	□防犯	□未使用
		回路2	□非常	□コール	□スプリンクラー	□防犯	□未使用
		回路3	□非常	□コール	□スプリンクラー	□防犯	□未使用
非常設定		移報遅延	□30秒	□無			
		非常鳴動	□有	□無			
コール設定	コール1	機能切替	□連絡	□緊急			
		移報遅延	□30秒	□無			
		ラッチ(自己保持機能)	□有	□無			
		表示(画面の表示)	□コール	□コール1	□トイレ	□フロ	□部屋
		音量(連絡コール)	□大	□中	□小	□連動	□切
		ドアホン移報	□有	□無			
	コール2	機能切替	□連絡	□緊急			
		移報遅延	□30秒	□無			
		ラッチ(自己保持機能)	□有	□無			
		表示(画面の表示)	□コール	□コール2	□トイレ	□フロ	□部屋
		音量(連絡コール)	□大	□中	□小	□連動	□切
		ドアホン移報	□有	□無			
	コール3	機能切替	□連絡	□緊急			
		移報遅延	□30秒	□無			
		ラッチ(自己保持機能)	□有	□無			
		表示(画面の表示)	□コール	□コール3	□トイレ	□フロ	□部屋
		音量(連絡コール)	□大	□中	□小	□連動	□切
		ドアホン移報	□有	□無			
	コール共通	音声メッセージ	□有	□無			

区分	分類	項目	設定
防犯設定	防犯1	警戒遅延	□60秒 □120秒 □300秒 □無(0秒)
		予備警報	□60秒 □120秒 □300秒 □無(0秒)
		警戒確定音	□有 □無
		表示(画面の表示)	□防犯 □防犯1 □部屋 □玄関 □玄関1 □玄関2 □窓 □窓1 □窓2
	防犯2	警戒遅延	□60秒 □120秒 □300秒 □無(0秒)
		予備警報	□60秒 □120秒 □300秒 □無(0秒)
		警戒確定音	□有 □無
		表示(画面の表示)	□防犯 □防犯2 □部屋 □玄関 □玄関1 □玄関2 □窓 □窓1 □窓2
	防犯共通	管理移報	□有 □無
		移報遅延	□40秒 □無(0秒)
		センサー情報	□有 □無
		外部解除	□可 □暗証設定時不可 □不可
		警報中外部解除	□可 □不可
		予備警報音	□有 □無
		警戒報知音	□有 □無
接続機器設定		玄関カメラ	□有 □無
		代表移報	□警報代表 □来客 □地震 □警報・来客 □警報・来客・地震
		管理呼機能	□有 □無
		地震	□有 □無

親機のユーザー設定

区分	項目	設定
呼出音量		□特大 □大 □中 □小 □切
地震報知音量	震度3	□大 □中 □小 □切
	震度4	□大 □中 □小 □切
	誤報	□大 □中 □小 □切
玄関呼出回数		□1回 □連続
画質		□自動切替 □カラー固定
防犯設定	暗証番号	□有 □無 暗証番号記入欄：□□□□
	ドアホン報知	□メッセージ □報知音 □無

その他